

令和6(2024)年度 公民館事業報告書



那須塩原市公民館

心豊かに 学び続けることのできるまち 那須塩原

～自分らしく たくましく 未来を拓く人づくり～

Fun & Exciting Education in Nasushiobara



那須塩原市公民館基本運営方針及び運営施策

目 的

○この那須塩原市公民館基本運営方針及び運営施策は、生涯学習の拠点となる公民館が那須塩原市生涯学習推進プランで定めた目的や課題に対応し生涯学習社会の実現を目指した事業実施を図るために定めるものである。

○また、その期間は、那須塩原市生涯学習推進プランの期間に合わせ、令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間とする。ただし、社会情勢の変化等により、必要に応じて適宜見直しを行うものとする。

基本運営方針

○公民館は、「人も地域も学びでつなぎ 未来につなぐ 那須塩原」を基本理念とした生涯学習推進プランに基づき、生涯学習社会の充実に向けて地域の特性を生かした施策を展開する。

○各公民館は、それぞれに運営方針、目標を掲げて具体的な事業計画を策定し、学びの機会の充実、学びを生かした地域づくり、学びを支える環境づくりに寄与する。

運営施策

- 1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供
(各年代のニーズに応じた講座の実施)
- 2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供
(健康づくりに関する講座の実施、地域の歴史・伝統芸能の継承支援)
- 3 現代的課題に応じた学習機会の提供
(情報化社会等、現代的課題に応じた各種講座の実施)
- 4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進
(地域学校協働本部事業、市民大学連携講座等の実施、育成会等地域団体の運営支援)
- 5 家庭教育の充実
(家庭教育支援事業の実施)
- 6 学びの成果を生かす取組の推進
(学びの発表の場の提供、地域で活躍する人材の育成)
- 7 公民館の機能の充実と活用
(シェアスペースの設置等による施設の有効活用、指定避難所機能の充実)
- 8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実
(ICTなど多様な媒体を活用した情報提供の充実)

令和6(2024)年度公民館事業報告書 目次

黒磯公民館事業報告書	1
厚崎公民館事業報告書	7
稲村公民館事業報告書	13
とようら公民館事業報告書	18
鍋掛公民館事業報告書	22
東那須野公民館事業報告書	27
高林公民館事業報告書	36
西那須野公民館事業報告書	44
狩野公民館事業報告書	48
南公民館事業報告書	55
西公民館事業報告書	61
三島公民館事業報告書	67
大山公民館事業報告書	75
ハロープラザ事業報告書	79
塩原公民館事業報告書	84
令和6年度公民館及び関係施設利用状況一覧表	87

※ 掲載している事業は、各公民館の主催事業のほか、各公民館が事務局を担っている団体(事務従事団体)の事業を含みます。

令和6(2024)年度 黒磯公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地球にやさしい キッチンガーデン 教室 (市民)	班ごとに有機栽培 による野菜作りを 学び、学んだ知識 を基に自主的な畑 の管理を行った。 また、有機栽培と SDGs との関係に ついて、座学によ る説明を行った。	4月～9月 (全10回)	16人 (138人)	有機栽培による野 菜作りを通じて、 受講者間の交流が 図れた。また、 SDGs の説明によ り、栽培だけでなく 食べることの大切 さを学び、SDGs を意識するきっ かけ作りとなっ た。	市民大学連携講座
2	子ども探検隊 (黒磯小児童)	子どもたちの豊か な人間性・自主的 に行動できる力を 育み、互いに助け 合う姿勢・地域愛 を育むことを目的 とし、体験・もの づくり・移動教室 などを実施した。	6月～1月 (全7回)	35人 (213人)	様々な活動による 直接体験や異学年 交流を通し、豊か な情操や創造性を 身に付け、相互扶 助の精神を養うこ とができた。	
3	いきいきセミナー (地区内成人)	セミナーを通し 様々な年代の方が 学びと交流を深め ることを目的と し、教養・芸術・ 運動・ものづくり 講座を実施した。	6月～12月 (全7回)	(137人)	内容や開催日時を 工夫したことで、 今まで参加のな かった年代や性別 の方の参加があ り、利用者の幅が 広がった。	
4	わかば学級 (65歳以上の地 区内住民)	互いを尊重し助け 合い、協力し合い ながら、仲間づく り・生きがいづく り・健康長寿を目 的とし、娯楽・教 養・ものづくり・ 移動教室などの講 座を実施した。	6月～1月 (全7回)	26人 (147人)	各種講座を通し て、仲間づくり・ 健康づくりを促進 することができ、 学びを深めるこ とができた。	
5	夏休み子ども教室 (黒磯小児童)	夏休みの課題であ る「読書感想文」 教室を実施。本の 選び方から始ま り、書き方を学 び、参加した児童 全員が読書感想文 を完成させた。	7月23日 8月1日 8月8日	12人 (35人)	自分が興味を持 った本を読み感じ たことを表現する ことにより、読書 の大切さ、楽しさ に気付くきっかけ となった。	
6	冬休み子ども教室 (黒磯小児童)	冬休みの課題であ る「書初め」教室 を実施。	1月4日	0人	参加申込みがなく 開催に至らなかつ た。申込み範囲の 拡大や日程の変更 を行い、次年度は 書初めの書き方を 学ぶだけでなく、 伝統行事に触れる 機会として継続し て実施していきたい。	

7	ものづくり講座 (市民)	お正月に向け、縁起が良いとされている水引で、箸袋とポチ袋を作成した。	11月16日	9人	細かい作業ではあったが、参加者同士コミュニケーションを図りながら作品づくりを行うことができた。	
8	いきいきクッキング教室 (市民)	那須塩原市の特産物のひとつである生乳を使い、チーズ作りを行う。	3月9日	15人	チーズについての知識を学ぶとともに、さけるチーズを作る貴重な体験をすることができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	いきいきハイキング (地区内住民)	春は日光キスゲで有名な霧降高原キスゲ平園地の散策、秋は紅葉で少し彩付いた大沼公園の散策を行った。	6月15日 10月22日	11人 12人	春は若年層にも参加してもらいたく休日の開催で比較的高低差があるコース、秋は高低差が少ないコースで紅葉を楽しみながら会話を楽しんでもらうよう設定し、参加者間の交流につながった。	
2	百人一首かるた教室 (市民)	伝統文化の普及等を目的に、地元かるた会が講師となり、百人一首の教室を実施した。練習成果発表の場として、2月2日に開催された「関東北かるた大会」には、受講者から8名が参加した。	4月～3月 (全24回)	10人 (168人)	幅広い年代のかかるた愛好者が参加し、伝統文化を学ぶだけでなく、世代間交流も図れていた。また、関東北かるた大会に参加したことが、さらなる学習意欲の向上にもつながった。	
3	第67回関東北かるた大会 (かるた愛好者)	関東及び東北のかるた会を対象とした小倉百人一首によるかるた大会。県内外から111人のかるた愛好者が参加し、A～Fクラスに分かれ対戦を行った。	2月2日	111人	県内外から幅広い世代の参加があり、大会を通して世代間及び地域間の交流にもつながった。また、昨年より多くの参加者があり、ニーズの高さを感じることができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	みんなにやさしいICT推進講座 (地区内住民)	急速に進むデジタル化に対応した学びについて、生成AI教室、メルカリ講座、ビギナー向けSNS講座を実施した。	8月29日 12月22日 3月5日	2人 5人 5人	高齢者などのビギナー向けSNS講座から現役世代にも関心を持ってもらえるような生成AI教室やメルカリ講座等の内容で幅広く講座を実施し、デジタルデバйдの解消に寄与することができた。	

2	公民館だよりの発行 (地区内住民)	公民館が実施する事業の募集や実施した事業の報告を紙面による班回覧及びホームページにより周知した。	月1回発行	—	事業の魅力を引き出すデザイン、全世代にも分かりやすい紙面づくりを心掛け、地区内住民へ情報発信をすることができた。また、講座の申込方法としてQRコードを活用しインターネットでの申込みを可能としたことにより、幅広い世代の参加にもつながった。	
3	なすしおぼら生涯学習チャンネルMILK(見る・来る)(インターネット利用者)	エール那須塩原家学(うちがく)プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット(You Tube)で配信	通年	—	多くの方に黒磯公民館の魅力を伝えることができた。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	【新規】 みんなでいきいきフェスティバル (主に地区内住民)	イベントを通して、地区内住民の交流の場とする。とともに、子育て世帯が減っている黒磯地区の子育てしにくいイメージを払拭し、地域一体となって活性化を図った。	9月29日	700人	自治会、黒磯地区更生保護女性会、子育てサポートステーション等と連携し、今後の地域を担う子どもやその保護者を主として楽しめるイベントを実施した。また、黒磯公民館では初めての試みであったが、想定を超える来場者数で非常に好評であった。	
2	感謝の会 (黒磯小)	交通指導員、図書ボランティア、スクールガードの方々に感謝の手紙や花束を渡し、感謝の気持ちを伝えた。(地域学校協働本部事業)	11月22日 12月6日 (2回)	(234人)	全校児童が感謝の手紙を書く活動を通して、日頃支えてくれている地域の方々への感謝の気持ちを醸成することができた。	
3	キャンドルナイト協力 (黒磯小)	黒磯駅前活性化事業の一環として毎年開催されるイベントへ協力した。(地域学校協働本部事業)	6月15日 12月14日	11名 13名	スタッフとして参加し、地域で行われる行事がどんな願いで、どんな準備で進められているかを体験しながら、地域への愛着を深めることができた。	

4	花いっぱい活動 (黒磯小・黒磯中・黒磯高)	黒磯小学校の児童、黒磯中学校、黒磯高校の生徒が連携し、一緒に花苗を植える活動を実施した。(地域学校協働本部事業)	黒小・黒中 5月23日 黒小・黒高 10月31日 黒中 11月19日	70人 44人 48人	黒磯小・黒磯中・黒磯高校が一緒に花苗を植える活動を通して、地域の環境美化に貢献する意識を醸成することができた。	
5	ボランティアで心を磨こう (黒磯中)	総合的な学習の時間を使い、支援物資の回収や地域のゴミ拾いなど、自分の得意分野を生かし、地域貢献活動を行った。(地域学校協働本部事業)	11月11日 11月21日	5人 22人	生徒自ら貢献活動を計画・実施し、奉仕の気持ちを育て、ボランティアを通して地域の方と交流を持つことができた。	
6	まちづくり出前授業 (黒磯中)	黒磯駅前活性化委員会の方の話を聞き、地域の良さや課題を主体的に捉え、よりよいまちづくりに参画する気持ちを養った。(地域学校協働本部事業)	12月3日	47人	黒磯駅前活性化委員会が地域のためにどのような趣旨でイベントを開催してきたかを学び、地域社会への参画意識の向上につながった。	
7	もったいない市協力 (黒磯中)	黒磯駅前活性化事業の一環として毎年開催されているイベントへ協力した。	10月27日 3月30日	13人 9人	生徒が実行委員会の会議に参加し、企画・運営に携わった。	
8	キャンドルナイト用キャンドル作り (黒磯中)	黒磯駅前活性化事業の一環として、毎年開催されるイベント「キャンドルナイト」に飾るキャンドル作りを行い、参加した。(地域学校協働本部事業)	6月15日 12月14日	13人 13人	地域の行事に積極的に参加し、沢山の方々と関わることで、地域への理解を深めるとともに、地域に貢献する姿勢や、郷土への愛着を深めることができた。	
9	和楽器の授業 (黒磯中)	地域の和楽器演奏家の専門的な指導を通して、伝統楽器への知識と伝統文化について学ぶ。(地域学校協働本部事業)	3月21日	41人	黒磯高校箏曲部によるボランティアと連携し、伝統的な楽器と文化に触れる貴重な機会となった。	
10	地域連携研修会 (黒磯中)	地域住民(自治会長)・生徒活動後援役員・小中学校保護者・小中学校教職員・黒小児童・黒中生徒が地域連携の重要性を共有し、意見交換を行った。(地域学校協働本部事業)	12月17日	89人	地域・保護者・教職員・児童・生徒の間で、地域と学校が協力する重要性について共通認識が形成され、児童・生徒が地域との結びつきや社会参画の意識を育む機会となった。	

11	黒磯中学校地域学校協働本部会議	地域学校協働本部事業に関して、公民館が事務局となり協働本部会議を開催し、情報交換会等を行った。	7月10日 3月4日	33人 33人	各種事業の報告及び情報交換を行い、学校と地域の連携を深めることができた。また、中学生を招いてグループワークを行うことで、地域と中学生を繋ぐ大きな役割を果たすことができた。	
12	黒磯地区子供会育成会連絡協議会（地区内児童親子）	事務局として、地区子ども会育成会の活動支援を行った。	通年	—	育成会活動に必要な各種手続きの窓口として、円滑な活動に寄与した。	
13	黒磯地区婦人会活動支援	事務局として、各種資料の作成補助や公民館まつり等で展示するパネルの作成補助を行った。	通年	—	年間を通して、いきふれ花壇の手入れを実施いただいております。公民館のイメージアップにもつながっている。	
14	自治公民館活動支援	自治公民館長との連絡調整を行った。	通年	—	自治公民館長には運営協力委員として公民館まつりやみんなでいきいきフェスティバルに協力いただいた。	
15	いきいきふれあいセンター利用団体活動支援	各種団体の活動について、貸館や発表の場を提供することにより支援、協力を行った。	通年	—	オンライン予約システムの導入や年間予約の新設により利用団体の利便性向上につながった。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	学年行事 (黒磯小)	家庭教育支援事業として、学年単位で親子で遊ぶ・親子で作る・親子で学ぶをテーマに交流活動を実施した。(家庭教育支援事業)	6月～9月	428人	交流活動を通し、親子の絆を深めるとともに保護者間の親睦を深めることができた。	
2	校内教育講演会 (黒磯小・黒磯中)	小中学生と保護者が一緒にヨガ体験を行った。(家庭教育支援事業)	11月28日	234人	体験を通して身体・健康や心の安定について考える機会となった。	
3	親子奉仕作業 (黒磯中)	親子奉仕作業を通して、親子の絆を深めるとともに、感謝の気持ちを育てる。(家庭教育支援事業)	5月12日 6月22日 8月31日	90人 122人 82人	学校PTA学年部会と連携した活動を通し、学校への愛着や感謝の情を培い、親子の絆を深化することができた。	
4	ものづくり教室 (黒磯中)	ポタニーペインティングの制作活動を通して、保護者・教職員の親睦を図るとともに、ものづくりのよさを体験する。(家庭教育支援事業)	12月20日	11人	保護者と教員が協力して制作に参加することで、和やかな雰囲気醸成され、コミュニケーションの円滑化につながることができた。	

5	立志式記念行事 (黒磯中)	立志を記念する行事として2学年の親子を対象に、記念式典及び餅つきを行った。 (家庭教育支援事業)	2月20日	127人	生徒1人1人が誓いの言葉を述べ、決意を新たにすることができた。また、親子で餅つきを体験し交流を深めると共に親子の愛情を再確認する機会となった。	
---	------------------	---	-------	------	---	--

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第31回くろいそ公民館まつり	利用団体による作品展示・ステージ発表、模擬店を実施。	11月24日	800人	まつりに向けた練習や当日の発表を通じて、利用団体の学習意欲の向上や会員相互の交流にもつながり、持続的な活動につながる有意義なイベントとなった。	
2	第67回関東北かるた大会	施策2-3再掲	2月2日			

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	通年	破損箇所などを随時修繕し、社会教育施設を維持管理している。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年	通年	全15公民館にオンライン予約システムの導入をして、利用団体にも浸透している。多くの団体がいつでも、どこでも公民館の予約が可能となった。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行			施策3-2再掲		
2	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK			施策3-3再掲		
3	黒磯地区子供会育成会連絡協議会活動支援			施策4-12再掲		
4	黒磯地区婦人会活動支援			施策4-13再掲		
5	自治公民館活動支援			施策4-14再掲		
6	いきいきふれあいセンター利用団体活動支援			施策4-15再掲		

令和6(2024)年度 厚崎公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	成人セミナー「アクト」 (地区内成人)	教養・芸術・ものづくり等様々な分野のセミナーを実施。 ①講話：救佐鳥プロジェクトとは ②31の動作（自彊術）で免疫力アップ ③移動教室「九尾の狐伝説を訪ねて」 ④トールペイント ⑤クリスマス料理 ⑥お正月用寄せ植え	6月～12月 (全6回)	①24人 ②9人 ③15人 ④10人 ⑤10人 ⑥18人 (86人)	できる限り土日に開催した。 昨年度は70歳代が参加の中心であったが、今年度は40、50歳代の参加者もあった。それぞれの講座で様々な体験を通して教養を高めることができた。さらに、他館で活動する自主サークルに加入し楽しみを広げる参加者もいた。	
2	高齢者学級「ときわ」 (地区内高齢者)	生きがいや仲間づくりのため「教養講座」「健康講座」を行う。	6月～2月 (全8回)	62人 (223人)	教養や健康、防災、電気の安全講習、ものづくりなど幅広く学びや体験ができた。	
3	子どもチャレンジクラブ「ヒップホップダンスクラブ」 (地区内小学1～2年生)	りすコース ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。	5月～11月 (全10回)	19人 (182人)	ダンスによって、体を動かす楽しさを学ぶことができた。10回目には大正堂くろいそみるひいホール小	
4	子どもチャレンジクラブ「ヒップホップダンスクラブ」 (地区内小学3～6年生)	うさぎコース ヒップホップダンスの上級の振り付けを学ぶ。	5月～11月 (全10回)	26人 (246人)	ホールで家族や地域の人に向けて発表することで、成功体験のプロセスを学ぶことができた。	
5	子どもチャレンジクラブ「体験教室」 (地区内小学1～3年生)	地区内小学生を対象に会員を募り、ものづくりや野外活動等、様々な体験を通して会員の興味関心の幅を広げ、仲間との活動の中で協調性やコミュニケーション能力の向上を図る。	6月～12月 (全6回)	17人 (92人)	ものづくり2回、金銭教育、移動教室、野外活動、調理実習と全6回の活動ができた。参加者からは、また参加したいとの声があり好評であった。	
6	子どもチャレンジクラブ「体験教室」 (地区内小学4～6年生)	地区内小学生を対象に会員を募り、ものづくりや野外活動等、様々な体験を通して会員の興味関心の幅を広げ、仲間との活動の中で協調性やコミュニケーション能力の向上を図る。	9月～2月 (全5回) うち1回中止	4人(14人) 映画会一般参加者33人 (うち育成会8人) HUG体験一般参加者12人	参加者が少なく、野外活動を実施することができなかったが、映画会「映画ざんねんないきもの事典」の企画・実施、ものづくり、HUG体験の活動ができた。	

7	夏休み子ども宿題サポート塾 (地区内小中学生)	夏休みの宿題である書道を支援する。	7月28日 (4部制)	児童51人 生徒6人 ボランティア 高校生5人	公民館利用団体が講師となって手厚い支援ができた。黒磯南高校書道部がボランティアで支援に協力してくれた。	
---	----------------------------	-------------------	----------------	----------------------------------	---	--

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ディスコン大会 (地区内住民)	誰もが参加しやすいニュースポーツで地域住民の体力づくりと交流を図るため、ディスコン大会を開催する。	6月23日	120人	自治会から参加チームを募り大会を開催した。前年に体験会を行っており、道具を揃えた自治会もあり、多くの参加を得られた。	
2	ソフトボール大会 (地区内住民)	スポーツを通じて若者から高齢者までが交流することで、次世代の地域活動の担い手とのつながりを作るため、ソフトボール大会を開催する。	9月8日	65人	自治会又は自治公民館単位でチームを編成しており、参加チーム数は少ないが、若い世代の参加があり、地域活性化の一助になっている。	
3	レザークラフト教室 (市民)	革細工の作製を通じて革に愛着を持つことで、ものを大切に使い続けようとする心情を育てる。	7月 (全5回)	15人 (69人)	財布やカードケース、バッグを作製した。参加者からは、また参加したいとの声があり好評であった。	市民大学連携講座
4	映画鑑賞会 (地区内住民)	映画鑑賞会を通じて、外出の機会を作り、交流の場とする。 ・アルプスの少女ハイジ (アニメ映画)	7月8日	12人	地域住民の交流や親子の親睦を図ることができた。	
5	趣味の講座「羊毛フェルト」	羊毛フェルトで癒される物づくり 「白熊のスイーツ? ネームスタンド? 可愛い白熊に癒される〜!!」	1月~2月 (全2回)	9人 (18人)	作業台とニードルがあれば、あとはひたすら刺すだけで可愛い白熊ができたので、参加者には大変好評であった。さらに家で別の物を作りたいと意欲も高かった。	
6	健康ハイキング	屋外での自然体験を推進し、心身の健康づくりを実践しながら、地域のつながりをつくる。 ・塩原温泉フィールド (スッカン沢溪谷)	6月9日	15人	塩原温泉パークコンダクターにガイドを依頼し、初夏の渓谷景観を堪能しながら歩くことができ、体力づくりにもなった。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ICT講座	くらしに役立つスマホ講座として、インターネットの使い方に不慣れな人を対象に基本操作を学ぶ。	3月 (全3回)	12人(34人)	LINEの安全な設定や、写真・動画の撮り方、地図での位置情報の利用方法やInstagram、QRコード決済などを学んだ。参加者は楽しそうに学んだ機能を試行していた。	
2	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK(見る・来る) (インターネット利用者)	エール那須塩原家学(うちがく)プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット(YouTube)で配信	通年	—	今年度新規の動画は作成しておらず、動画での効果的な学習題材の検討が必要。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域学校協働本部会議 (本部委員・活動推進員)	地域学校協働本部会議 (地域学校協働本部事業)	6月、2月 (2回)	56人(98人)	地域学校協働本部会議を開催。学校と地域の活動の情報共有が図れた。	
2	地域学校協働本部事業 あつさき地区ふれあい交流会 (地区住民、地区内地域活動団体、地区内学校教員)	あつさき地区ふれあい交流会 (地域学校協働本部事業)	10月2日	参加者 384人 一般観覧者96人	参加団体を募り、9団体が参加した。参加団体による学習発表の他に、児童生徒が地域の活動者・施設利用者と日光和楽踊りを踊って交流した。会の運営については、実行委員の他に黒磯南高生徒会役員が司会、受付、記録、放送を担当し、小中学生が準備と後片付けを手伝ってくれた。実行委員からは進行がスムーズであったとの意見があり、概ね好評であった。	

3	埼玉小学校 地域学校協働本部事業 (児童・地域住民)	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るため、以下の事業を実施した。 ・稲作体験(田植え・稲刈り・お米の贈呈式) ・農園活動 ・掲示物・作品づくり ・おもちゃパーティー ・昔遊び・とんぼ団子づくり (地域学校協働本部事業)	5月～3月 (5回)	(694人)	地元農家、農協、PTA、ボランティアの協力により児童が活動することができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	
4	共英小学校 地域学校協働本部事業 (児童・地域住民)	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るため、以下の事業を実施した。 ・花いっぱい運動 ・感謝の会をひらこう ・昔の遊びにチャレンジしよう ・まゆ玉づくり (地域学校協働本部事業)	6月～1月 (3回)	(821人)	PTA、ボランティアの協力により、児童が活動することができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	
5	厚崎中学校 地域学校協働本部事業 (生徒・地域住民)	学校と地域との協働・交流を図るため、感謝の花プロジェクトを実施した。	2月18日	144人	自治会の協力により、生徒が活動することができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	
6	厚崎地区子供会育成会連絡協議会 (地区内児童と保護者)	・総会、役員会 ・防災ポーチづくり ・映画会(映画さんねんないきもの事典)への協力	4月～3月 (4回)	21人(78人)	総会で、厚崎地区の育成会長が一堂に会し、情報交換を実施。LINEオープンチャット・地域ポータルコミュニティを作り、情報の共有が図れた。 防災ポーチづくりを主催し、親子の親睦と交流することができた。 体験教室4～6年生で実施した映画会へ運営協力することができた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	埼玉小親子ものづくり教室 (児童・保護者)	ペーパークイリング、クレイ粘土で作るマグネット、消しゴムスタンプでコースター、コルク時計づくりを実施。 (家庭教育支援事業)	7月24日	144人	親子で楽しくものづくりを体験できた。	

2	共英小親子ものづくり教室 (児童・保護者)	キャンドル、クラフトテーブルで動物かごづくりを実施。 (家庭教育支援事業)	7月27日	93人	親子で楽しくものづくりを体験できた。	
3	厚崎PTA移動教室 (保護者・教員)	大内宿見学 白河だるま絵付け体験	6月25日	15人	ボランティアガイドの説明と見学により大内宿の歴史を学んだ。 子どもの成長を願いながら白河だるまの絵付けを体験した。	
4	厚崎地区3校合同子育て講演会 (地区内児童生徒の保護者・教員)	子育てに関する悩みや解決策を共有し、子育て中の保護者に気付きと活力を提供するため、講演会を実施。 (家庭教育支援事業)	—	—	当初対面での講演会を9月に予定して3校と公民館で会議を開催したが、学校の希望でweb配信で実施することとなった。 予算や内容に合う講師を依頼することができず、家庭教育に関するチラシを作製し子育ての参考になるwebサイトを紹介することとした。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	あつさき公民館まつり (市民、利用団体)	利用団体の作品展示、活動発表。模擬店等での販売。	12月1日	550人	4年ぶりに開催した昨年と比べて、運営協力委員による赤飯や産直会の野菜販売などが増えて賑わいが戻ってきた。ステージ発表は、限られた時間の中で発表団体同士が協力してスムーズな進行ができ、会員相互の交流にもつながった。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施 (市民、利用団体)	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	—	高圧気中負荷開閉器(PAS)及び受変電設備(VCB)更新、非常用照明及び誘導灯交換、トイレ洋式化、桜剪定などを実施した。 利用者が、安全安心に利用できる環境を整えた。	

2	スマート公民館に向けた取組 (市民、利用団体)	公民館の利便性向上を図るため、必要なシステムの充実及び地域住民の居場所づくりを進める。	通年	—	QRコード決済端末が設置となり、使用料徴収時に利用者の利便性が図られる。	
---	----------------------------	---	----	---	--------------------------------------	--

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	あつさき公民館通信の発行	地区内住民に公民館事業や学校・地域の情報を提供するため、「あつさき公民館通信」を発行する。	月1回	—	公民館事業の周知など地域に向けた情報の発信ができた。	
2	厚崎公民館ホームページ	地区内住民に公民館事業や学校・地域の情報を提供する。	通年	—	公民館事業やコミュニティ情報の周知など地域に向けた情報の発信ができた。	
3	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る） (インターネット利用者)	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信	通年	—	今年度新規の動画は作成しておらず、動画での効果的な学習題材の検討が必要。	施策3-2再掲

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	子ども体験塾 (地区内小学生)	地区内小学生を対象に塾生を募り、ものづくりや野外活動等、様々な体験を通して塾生の興味関心の幅を広げ、仲間との活動の中で協調性やコミュニケーション能力の向上を図る。	5月～12月 (全8回)	25人 (172人)	定員を上回る申し込みがあり、全員参加で実施した。実施には、高校生のボランティアグループの手伝いも仰ぎながら、様々な体験をすることが出来た。	
2	やしお学級 (地区内成人)	地区内の成人を対象に参加者を募り、ものづくりや軽運動などの講座を開催し、参加者の興味関心の幅を広げ、学んだ知識を生活の中で生かすとともに、参加者間のコミュニケーション作りを図る。	6月～1月 (全8回)	27人 (176人)	染色や飾り寿司などの作成を体験したり、移動教室で近代美術を鑑賞するなど、日常であまり実施しないことを体験できて好評だった。また、事業を通じて受講者間のコミュニケーションが図られたことも良かった。	
3	いなほ学級 (地区内高齢者)	地区内の高齢者を対象に参加者を募り、ものづくりや軽運動などを行い、参加者の興味関心の幅を広げ、生きがいづくりの一助とする。また、学んだ知識を生活の中で生かすとともに、参加者間のコミュニケーション作りを図る。	6月～12月 (全7回)	23人 (136人)	押し花ランプや寄せ植えのほか、受講者の体力に合ったストレッチなど体を動かすこと体験できたのは好評だった。また、やしお学級と同様に事業を通じて受講者間のコミュニケーションが図られたことも良かった。	
4	宿題お助け隊（書道） (地区内小学生)	管内小学生を対象に、適切な指導者の指導の下で夏休みの課題を行う。	8月1日	11人	夏休みの課題として書道を選択した児童にとっては、指導を受けながら書くことで課題を良い形で終わらせることができた。	
	宿題お助け隊（ドリル） (地区内小学生)	管内小学生を対象に、適切な指導者の指導の下で夏休みの課題を行う。	8月7日	8人	高校生ボランティアの協力を得ながら課題のドリルを終わらせることができた。ボランティアの高校生との交流を図ることができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	はつらつ講座 (地区内住民)	軽運動を体験することで、日常生活での運動を行うことの意識づけを行い、仲間づくりを図ることができた。	(前期3回) (後期3回)	20人(43人) 16人(27人)	前期はヨガなどの体操を中心とした講座、後期はディスコンなどニュースポーツの体験ということで開催した。初めて体験する種目もあり、興味深く体験していた。	
2	ハイキング (地区内住民)	自然の中を歩くことで、住民の体力づくり、仲間づくりを図る。	6月29日・10月3日	25人(6月) 23人(10月)	二回とも自然の中を歩くことに加え、施設見学などを取り入れることで、よりハイキングコース周辺の状況に理解を得ることができた。	

3	陶芸教室（市民）	公民館所有の陶芸室を活用し、一輪挿しと自由作品の二点の作品を制作した。講師は施設利用団体から指導者へ育成を図った陶芸サークルへ依頼した。	9月～10月 (全3回)	11人 (33人)	陶芸室利用サークルに講師を依頼して、作品作りを行った。参加者からは、来年度の開催要望もあり好評だった。	市民大学連携講座
4	グラウンドゴルフ体験会 (地区内住民)	体育活動を通じて、地域住民の健康増進と親睦を図る。	12月7日	18人	昨年に引き続き、グラウンドゴルフの体験会を開催した。未経験者の参加も多かったが、ルールを学びながら楽しくできた。	
5	そば打ち教室 (地区内住民)	地域の方に講師を依頼して、そばの打ち方を習得する。	12月21日	8人	そば打ちを学ぶことで、食に関する関心を高めるとともに、参加者間のコミュニケーションを図ることができた。また、地域の方に講師を依頼することで地域の人材発掘にもつながっている。	
6	味噌づくり教室 (地区内住民)	地区内住民を対象に味噌づくりを体験してもらい、食への関心と参加者同士のコミュニケーションを深める。	1月15日	22人	味噌を仕込むことによって、作成したものに長期間関心を寄せることで公民館事業についての関心を高めるとともに、参加者間のコミュニケーションを図ることができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマートフォン講座	スマートフォン初心者向け教室の開催。基本的な操作や機能を学び、自分自身でほしい情報を収集できるよう支援する。	12月10日 ※いなほ学級内の1講座として開催	22人	高齢者を対象にいまさら聞けないスマートフォン講座として、改めて使い方について説明を受けた。自分の知識に対して再度確認することができて好評だった。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域学校協働本部事業会議	各学校単位での実施事業における情報交換、児童・生徒の活動の様子の報告などを行う。 (地域学校協働本部事業)	5月28日 2月20日	35人	初回会議では、新任委員の顔合わせを含めて地域としての課題を各委員から出してもらい共有を図った。 2回目会議では、各学校での取組みを発表し、各学校の対応について情報共有を図った。	
2	地域学校協働本部事業事業(稲村小)	稲村小の児童生徒が地域住民と共に活動し、様々な経験や知識を得る中で、地域の将来を担う人材を育成を図る。 (地域学校協働本部事業)	5月～11月 (全3回)	(710人)	地域緑化活動、校外活動、感謝の会など児童と地域とのつながりを持つための事業を行ってきた。	

3	地域学校協働本部事業事業(東原小)	稲村小の児童生徒が地域住民と共に活動し、様々な経験や知識を得る中で、地域の将来を担う人材を育成を図る。 (地域学校協働本部事業)	5月～1月 (全6回)	(850人)	学校行事に地域住民の協力を得ながら事業を実施している。特に「乳しぼり体験」については、牛を学校に連れてくるという独特の活動で地域とつながっている。
4	地域学校協働本部事業事業(黒磯北中)	稲村小の児童生徒が地域住民と共に活動し、様々な経験や知識を得る中で、地域の将来を担う人材を育成を図る。 (地域学校協働本部事業)	6月～11月 (全2回)	(655人)	地域のお年寄りを招き、さつまいもの栽培を行い、交流を深めることができた。
5	地域学校保健委員会	地区内の小中学校の保健担当教諭や児童生徒、地域住民が集まり、地区内の健康課題について話し合うことで認識の共通化を図る。 (地域学校協働本部事業)	9月19日	91人	「心の健康」をテーマに事前のアンケートを基に児童生徒や大人と一緒に意見交換をしていた。
6	さわやかタウンミーティング	3校合同事業として、自治会や地元消防団の協力のもと地域と学校が連携し、それぞれの役割や地域防災について学び防災意識を高める。また、小学6年生と中学1年生の顔合わせにより、6年生が中学校進学時に顔見知りを作ることで、6年生が気後れしないようにする。 (地域学校協働本部事業)	12月4日	277人	参加人数を絞り、一つの会場で開催した。市の危機管理課及び地区の消防団をはじめとした住民にも協力いただき、防災について学ぶことができた。また、小学6年生と中学1年生が顔を合わせ、話をする中で子供たちの中のつながりを深めることができた。さらに後継事業として「みんなで防災2025」を開催した。
7	東原コミュニティとの共催事業	東原コミュニティの住民を対象として共催事業で寄せ植え、ひょうたんランプづくりを行う。	12月1日 (寄せ植え) 1月25日 (ひょうたんランプづくり)	20人(寄せ植え) 10人(ひょうたんランプ)	東原コミュニティ地区住民対象ということで、稲村地区住民から参加希望があったのを断ることがあった。寄せ植え、ひょうたんランプづくりいずれも参加者が一生懸命取り組み良い作品を作ろうとしていたのが感じられた。
8	稲子連との共催事業	イベント(夜の公民館)を通して、地区内の住民交流の場とするとともに、親子での会話などが深まるきっかけづくりとする。	7月27日	40人	稲子連の保護者が子どもたちをお化け屋敷で驚かすということもあり、それぞれに仕掛けなどを作成していた。会場では、子どもたちも驚きながら楽しんでいた。

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	稲村小家庭教育支援事業	7月は移動教室、9月はものづくりとして開催。保護者に家庭教育に関する学習の機会を提供し、子育てに関する知識を習得するとともに、親同士の交流を図り地域の連携を醸成する。 (家庭教育支援事業)	7月31日 9月28日	20人(7月) 20人(9月)	親子で参加する内容であったが、親子間のコミュニケーションの向上、また他の保護者との関係を深めることができた。	
2	東原小家庭教育支援事業	7月は移動教室、8月はものづくりとして開催。保護者に家庭教育に関する学習の機会を提供し、子育てに関する知識を習得するとともに、親同士の交流を図り地域の連携を醸成する。 (家庭教育支援事業)	7月25日 8月17日	29人(7月) 14人(8月)	親子で参加する内容であったが、親子間のコミュニケーションの向上、また他の保護者との関係を深めることができた。	
3	黒磯北中家庭教育支援事業	ものづくりとして開催。保護者に家庭教育に関する学習の機会を提供し、子育てに関する知識を習得するとともに、親同士の交流を図り地域の連携を醸成する。 (家庭教育支援事業)	12月14日	35人	思春期の親子ということでコミュニケーションについて気になっていたが、こちらの心配をよそに仲良く作品を作成していた。	
4	子育て講演会	地区内小学生の保護者を対象に、子育てに役立つ講演会を開催する。	10月11日	35人	(公財) 生命保険文化センターから講師を招き、子育て世代の生活設計について学ぶことができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	稲村公民館まつり	公民館事業の活動内容の紹介や公民館利用団体による学びの成果を発表する等、文化活動の発展と地域住民との交流を図る。	11月1日 11月2日	(650人)	昨年に引き続き作品展示以外の発表、模擬店も含めた開催。自治会が初めて模擬店として参加し、より一層の地域の交流が図られた。また、活動内容の発表の場として生涯学習活動の活性化に寄与できた。	
2	ユーモア川柳コンテスト	「寒い」をテーマに地区内住民に川柳を作ってもらい、その出来栄を競う。	2月15日(表彰式)	100人	黒磯北中生徒からも作品を募集したところ、かなり多くの作品が寄せられた。多くの作品が寄せられたため、選者の先生も喜んでいただけた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	シェアスペースの活用	令和5年末に図書ラウンジからシェアスペースとなった場所を活用し、黒磯北中ボランティア部による工作教室などの活動場所として提供	年4回	-	今年度から、黒磯北中の申入れにより実施。8月3日には「地域ふれ愛さわやかまつり」を開催。主催者発表で200人以上の参加者を集めた。	
2	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の改修及び維持管理に必要な修繕を実施した。	通年	-	館内設備の修繕、看板の設置を行い施設の維持管理、利便性の向上を図った。 ・多目的ホールレースカーテン修繕 ・陶芸室看板設置	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	稲村公民館だよりの発行	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	月1回発行	-	公民館事業の募集、結果の報告など地域住民向けに情報発信できた。	

令和6(2024)年度 とようら公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	とようら学級 (地区内高齢者)	健康で充実した生活を送れるようものづくり、健康講座等を実施。	6月～2月 (全7回)	12人 (67人)	ものづくりやレクリエーション等を通して、充実した活動を行うことができた。作成した作品は公民館まつりに展示し活動の成果を発表することができた。	
2	おやじ教室 (地区内の成人男性)	地域社会への参加のきっかけづくりと地域と家庭内の自己有用感を高めるよう料理教室やものづくり等を実施。	6月～2月 (全7回)	16人 (84人)	ものづくりや料理教室等では受講者同士が和気あいあいとした雰囲気の中で活動を楽しむことができた。	
3	子ども公民館 (地区内児童)	創作、運動、文化活動等を通して、学年を越えた交流を図る。	6月～2月 (全8回)	11人 (65人)	多岐にわたる体験活動を実施し、ほとんどの活動が好評であった。	
4	ちびっこ教室 (地区内乳幼児とその保護者)	リトミック教室、絵本読み聞かせ、ベビーマッサージを開催。	6月6日 6月26日 7月4日 9月5日 9月19日 10月3日	9組 (25組)	活動や体験を通し、子育てについて学び、保護者間の交流を図ることができた。	
5	【新規】 WAKUWAKU《食す》編《作る》編 《動く》編《季節》編 (日新中学校区内住民)	小学生から高齢者までの幅広い層が対象。健康で豊かな生活を送るための食や健康、ものづくり等に関する体験活動を実施。	6月～2月 (全16回)	(141人)	それぞれのジャンルにおいて様々な体験活動を実施し楽しく実践的な活動が展開できた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	子どもお囃子教室 (地区内児童)	コミュニティ事業「ふれあい夏まつり」や「とようら公民館まつり」でのお囃子演奏者の育成を目的に、お囃子の練習を実施。	7月～8月 (全10回)	18人 (149人)	「ふれあい夏まつり」は中止となったが、公民館まつりへは出演し、演奏を披露することができた。お囃子を通して伝統文化に触れる良い機会となった。	
2	ハイキング (地区内住民)	ハイキングを通して、歩くことの楽しさを体験し、健康増進を図ることを目的に実施。	10月24日	17人	益子町の市街地周辺を怪我無く歩くことが出来た。町の散策も同時に実施し、ガイドのもとで貴重な体験をすることが出来た。参加者からも大変好評だった。	
3	チャレンジキッズ (地区内児童とその保護者)	身近な自然やもの、地域のくらしに関わる様々な体験活動。段ボールピザ作り、とんぼ団子作り、冬山の自然体験教室。	7月28日 1月11日 2月15日	17人 4人 申込者少数のため中止	普段できないような活動を親子で行った。家族や地域の人々とのつながり、身近な楽しみに気付く貴重な機会になった。	
4	大人の社会科見学 (地区内住民)	産業、歴史、文化を学びながら、参加者同士のコミュニケーションを図り、仲間づくりを支援する目的で実施。	2月27日	-	申込者少数のため中止	

5	スポレクまつり (地区内住民)	とようらコミュニティに協力し、スポーツ・レクリエーションを通じた地域の高齢者や大人、子どもの3世代が交流を図ることにより、親睦と連帯意識を高めるとともに健康で明るい地域づくりを目指して実施。	10月20日	400人	豊浦小学校体育館へ会場を移し、プログラムも見直して開催した結果、参加者が多く、運営側からも好評であった。地域を挙げてのイベントとなった。	
---	--------------------	---	--------	------	--	--

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	消費生活セミナー (市民)	シニア世代に多く見られる消費者トラブルの具体例について学び、自衛のための知識の習得を目指す。	2月6日	18人	2部構成として、1部は特殊詐欺や悪質商法、2部はインターネットトラブルをテーマとして実施した。クイズや動画視聴などを取り入れ、受講者は詳しく学べたと好評を得た。	市民大学連携講座
2	ちょっとだけPC相談室 (地区内住民)	『相談室』として通年で開設。WindowsやWord、Excel等についての「ちょっとだけ聞きたい」という相談に対応し、機器操作習得等の促進を図る。	通年	(10人)	PCに関するトラブルや悩みを解消することで、個人のスキルアップにつながった。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	Work Work 体験 in 日新 (地区内児童生徒・市民)	地域全体で児童生徒を育てる意識を啓発するため、地域住民が様々な体験活動の講師として参加し児童生徒と交流する。また、活動を通して日新中学校区小中一貫教育目標である「ふるさとに誇りをもち人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成」の具現化を図る。 (地域学校協働本部事業)	9月7日	733人	子どもたちへアンケートを実施したことで希望が反映された体験活動を行うことができた。地域住民が講師として参加し児童生徒と交流したことで、地域全体で児童生徒を育てる意識の啓発に繋がった。	
2	豊浦小地域行事参加 (豊浦小児童及び地区内住民)	地区内の各種行事へ児童が参加することで、地域の方との交流を深める。 (地域学校協働本部事業)	通年	—	「どんど焼き」など開催された行事に参加することができ、地域住民との交流を図ることができた。	
3	豊浦小感謝の会 (豊浦小児童及び地区内住民)	学校行事や登下校時の見守り等、地域のボランティアに感謝の意を伝えることを目的に「感謝の会」を手紙と花の贈呈に変更し実施。 (地域学校協働本部事業)	12月5日	332人	児童が心を込めた感謝の手紙や、花を渡すことにより、感謝の気持ちを表すことができた。	

4	とようらギャラリー (豊浦小児童及び 地区内住民)	地域住民の作品を学 校内に展示し、児童 と地域住民との交流 を深める。 (地域学校協働本部 事業)	通年	1団体	主に書道作品の展示 を行った。地域の 方々の作品を展示 することで、児童と地 域住民との交流が深 まった。	
5	地域学校協働本部 会議 (地区内関係団 体)	日新中学校区の地域 学校協働活動の推進 を図るための会議を 開催。 (地域学校協働本部 事業)	5月30日 2月19日	23人 23人	情報交換、意見交換 を行い、学校と地域 の連携・協力による 具体的な活動につな がった。	
6	ふれあい夏まつり (地区内住民)	とようらコミュニ ティに協力し、園児 の踊り発表、お囃子 演奏や地域内の団体 等による模擬店販売 などを行い、地域住 民間の交流を図る。	8月17日	—	天候不良により中止	
7	どんど焼き (地区内住民)	とようらコミュニ ティに協力し、小正 月の行事である「ど んど焼き」を実施す ることにより、地域 住民の無病息災を祈 り、地域の連帯感・ 一体感の醸成を図る とともに、地域の子 供達への伝統行事の 伝承を図る。	1月11日	250人	準備から後片付けま での活動を通して地 域の連帯感の醸成や 伝統行事の伝承が図 られた。	
8	とようらコミュニ ティ推進協議会	関係団体との連携を 図るとともに、協 力・援助を行いより よい活動を図る。	通年	—	豊浦小清掃等の事業 活動や総会、理事会 等会議開催に向けた 支援を行った。	
9	自治公民館	関係団体との連携を 図るとともに、協 力・援助を行いより よい活動を図る。	通年	—	自治公民館への情報 提供や事業活動の支 援を行った。	
10	豊浦地区子供会育 成会連絡協議会	関係団体との連携を 図るとともに、協 力・援助を行いより よい活動を図る。	通年	—	会議開催及び地域イ ベントへの参加支援 を行った。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	豊浦小家庭教育支 援 (豊浦小児童及び 保護者)	体験活動やものづく りに挑戦し、親子の 交流を促す。 (家庭教育支援事業)	7月31日 10月5日 12月22日	25人 14人 22人	親子で同じ体験をす ることにより穏やか で楽しい時間を共有 することができた。 また、親同士の交流 も図れた。	
2	日新中家庭教育支 援 (日新中学校区内住 民)	日新中PTA組織の変 更に伴い、「 WAKUWAKU」とし て実施 1-No5再掲 (家庭教育支援事業)				

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	とようら公民館ま つり (市民)	公民館利用団体や地 域住民の作品展示、 公民館講座の紹介等 を実施し、地域との 交流を図る。	11月24日	400人	自主サークルの作品 展示や発表のほか、 模擬店などコロナ禍 前の内容で開催し、 地域住民の交流や生 涯学習の発展に寄与 することができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりに必要な設備の導入。	通年	—		
2	とよورا公民館まつり (市民)	6-No1再掲		—		

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	とよورا公民館だより発行（地区内住民）	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	通年 月1回発行		公民館事業の募集や報告等地域住民に情報を提供できた。	

令和6(2024)年度 鍋掛公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	わくわくチャレンジ塾 (鍋掛小)	児童を対象に体験活動、ものづくり等を行い児童の自主性と世代間交流を図る。	5月～1月 (全9回)	17人 (73人)	ものづくりなどを含め、なかなか体験できないことを親子で一緒に体験し新たな見分が広がった。次年度も是非という声があり好評であった。	
2	ダンス♪あそび塾 (鍋掛小)	児童を対象にヒップホップダンスを学び、体力づくり、仲間づくりを図る。	6月～1月 (全11回)	24人 (228人)	例年よりも多くの参加があった。様々な学年の子供達が、目標に向かって1つになり仕上げて、ステージで発表することが出来、学び合える楽しさを味わうことが出来た。	
3	なべかけふるさと講座 (鍋掛小)	児童を対象に鍋掛地区の正月遊びなどの伝統行事の継承を図る。	7月～1月 (全3回) 7月28日 12月28日 1月5日	お習字 5人 お習字 3人 独楽づくり3人 (11人)	習字や独楽づくりをおこなった。出来上がった独楽を廻し楽しんでいった。今後も継続し伝統行事の継承を図りたい。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハイキング (地区内住民)	ハイキングを通して健康増進を図るとともに、参加者間の交流を図る。	6月16日	21人	鹿沼市内を散策し、彫刻屋台や川上澄夫美術館を見学し、健康維持と共に親睦が図れた。	
2	体育事業 (地区内住民)	健康増進を図るとともに、地域住民の親睦を深め、明るい地域づくりを目指す。	6月30日 7月7日 12月1日 1月26日 (4日間)	32人 (51人)	親睦と健康維持を目的としグラウンドゴルフ体験会を実施した。参加者からは楽しかったと好評であった。	
3	ものづくり講座 (地区内住民)	壮年を対象にものづくりなどを通して、生きがいづくり、仲間づくりを図る。	9月 (全4回)	アートクロス フラワー 10人 (28人) ハスワーク 8人 (36人)	アートクロスフラワーとハスワークを作成し、千人展で展示した。素敵な作品に仕上がりと、仲間づくりも出来好評であった。	
4	奥州道中歴史講座 (地区内住民)	市民に鍋掛地区をとおり奥州道中の歴史や史跡を紹介し、郷土愛と地域の活性化を目指す。	10月～2月 (全5回)	20人 (63人)	毎回人気のある講座で、地元の歴史を学ぶことができ好評である。	

5	健康教室 (地区内住民)	壮年を対象にストレッチ等による健康維持と仲間づくりを図る。	11月～12月 (全4回)	8人 (20人)	カンフー体操を実施し、参加者からは、「腰痛が良くなった」「続けてみたい」等声があり、健康維持と仲間づくりが図れた。	
6	正月飾り教室 (地区内住民)	壮年を対象に日本の風物詩である年越しの行事や正月飾りを学ぶとともに地域住民の親睦を図る。	12月8日	14人	寄せ植えを行いながら、参加者同士の交流が図れた。	
7	料理教室 (地区内住民)	壮年を対象に料理を通して、生きがいづくり、仲間づくりを目指す。	1月～3月 (全4回)	9人 (32人)	お料理を学びながら、参加者同士の交流場となり、好評であった。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ICT推進講座	ICTに関する講座を実施	7月 (全4回)	8人 (15人)	動画編集やSNSの操作について詳しく学ぶことができ、参加者同士の交流が図れ、趣味の幅が広がったと好評だった。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	日新地区地域学校協働本部会議 (地区内関係団体)	地域と学校が協働して児童生徒を育てよう情報交換をする。 (地域学校協働本部事業)	5月30日 2月19日 (2回)	23人 23人 (46人)	情報交換、意見交換を行い、学校と地域の連携・協力による具体的な活動に繋がった。	
2	WorkWork体験 in 日新 (地区内小中学生・市民)	地域住民との活動を通して、児童・生徒相互の連帯感や友情を深める。また、PTA、学校、公民館の共催事業とすることで、地域全体で児童生徒を育てる意識を啓発する。 (地域学校協働本部事業)	9月7日	733人	日新中学校区の児童生徒が、混合グループに分かれ27団体と体験活動を行うことにより、相互の連帯感や友情を深めることが出来た。また、地域住民や外部講師との交流も図れ、地域の資源・魅力を再発見することができた。	
3	田植え体験 (鍋掛小5年)	稲を育てることで食物を大切にすることを育てる。 (地域学校協働本部事業)	5月8日	児童35人 PTA35人 講師3人 (73人)	自分たちの手で苗を植えることで、食物を大切にしようとする心を育てることができた。また、地域の方や保護者と共同で作業を行うことを通して、感謝の気持ちを育てることができた。	

4	美化活動 (鍋掛小全学年)	苗植えを通して共に作業する喜びを感じるとともにふれあいと校内美化に務める。 (地域学校協働本部事業)	6月13日 10月24日	(163人)	他学年の児童と交流が深まった。外部ボランティアは要請せず実施した。	
5	親子ものづくり (鍋掛小3年)	親子で絵手紙作り (地域学校協働本部事業)	6月19日	児童35人 PTA35人 (70人)	親子のコミュニケーションを深めることができた。	
6	親子ものづくり (鍋掛小1年)	親子でリース作り (地域学校協働本部事業)	10月25日	児童29人 PTA29人 (58人)	親子のコミュニケーションを深めることができた。	
7	感謝の集い (鍋掛小全学年)	日頃からお世話になっている地域の方に対して、感謝の気持ちを表す。 (地域学校協働本部事業)	11月15日	児童163人	心を込めた感謝の手紙や鉢植えを渡し、日頃からお世話になっている方々に、より深い感謝の気持ちを伝えることができた。	
8	親子学習会 (鍋掛小2年)	人権教室 (地域学校協働本部事業)	10月9日	児童35人 PTA35人 指導者3人	相手を大切に思ったり、お互いに認め合ったりすることの大切さや、親子の絆の大切さに気付くことができた。	
9	親子学習会 (鍋掛小4年)	メディア教育について (地域学校協働本部事業)	6月19日	児童35人 PTA32人 講師1人	インターネットを使った人権侵害の具体例について、理解を深めることができ、親子で同じ内容を学習することで、家庭での約束について考えることができた。	
10	鍋掛に棲息する生き物の講話 (鍋掛小3年)	地域の人の講話を聞き、美しい自然を守り大切にしようとする心を養う。 (地域学校協働本部事業)	12月23日	児童19人 講師1人	地域の自然への関心の向上につながった。	
11	和太鼓指導 (鍋掛小クラブ)	和太鼓指導 (地域学校協働本部事業)	5月27日～2月3日 (16日)	児童10人 講師1人	和太鼓を演奏する技術が身につく、伝統文化への理解が深まった。また、礼儀作法、協調性、向上心や表現力等が身についた。	
12	餅つき (鍋掛小)	餅つき唄保存会に所属していた方、PTA役員に協力をいただき、全校児童が交代で餅つきをおこなう。 (地域学校協働本部事業)	11月28日	児童163人 PTA25人 一般・その他10人 (198人)	地域の方とのふれあいを通して、地域の一員としての意識が高まり、昔から続く伝統行事の良さに触れることができた。	

13	餅つき (鍋掛小)	餅つき倶保存会に所属していた方、PTA役員に協力をいただき、全校児童が交代で餅つきをおこなう。 (地域学校協働本部事業)	12月2日	児童168人 PTA25人 一般・その他10人	地域の方とのふれあいを通して、地域の一員としての意識が高まり、昔から続く伝統行事の良さに触れることができた。	
14	なべかけまつり (市民)	鍋掛地区の産業や文化を発表や展示などをおして地域の方々に紹介し、地域住民のふれあいや地場産業の発展を図る事業に事務局として協力する。	11月10日	1,000人	コミュニティを中心に、鍋小・日新中の児童生徒・地域の協力のもと、地域住民の交流と産業の活性化を図ることができた。	
15	鍋掛地区自治公民館支援事業	自主活動の支援協力を行う。	通年	—	自主活動を行った。	
16	敬老会	敬老対象者に祝い品等を贈る事業に事務局として協力する。	9月15日	262人	お菓子の詰め合わせと清酒を用意し、自治会長より対象者に配布した。対象者に喜んでもらえ、好評であった。	
17	子ども育成事業	各種事業を通して、地区子供会育成会を事務局として支援する。	通年 子ども工作教室8月4日 親子映画会12月26日	子ども工作教室13人 親子映画会76人	親子工作教室及び親子映画会を実施し、親子でのふれあいを行い、有意義な時間を過ごせた。	
18	鍋掛福寿会	鍋掛福寿会が実施する各種事業について、事務局として支援、協力を行う。	通年	—	花壇の手入れ等を行い、環境美化に努めてくれた。	

5 家庭教育の充実

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	家庭教育学級 (鍋掛小)	親子で協力して研修会や親子学習会を開催し、親子の絆や信頼関係を深める。(家庭教育支援事業)	8月6日 1月19日	日光方面17人 ドライフラワーポット作り11人 (28人)	8月に日光方面に出かけ、自然環境への知識を深められた。1月には、ドライフラワーポット作りを通してSDGsを学び親子でふれあいながらそれぞれの作品を作らせた。	
2	家庭教育通信 (鍋掛小)	子育てに関する情報・季節の行事紹介や親子でできるものづくり等を紙面を通して保護者に通知する。(家庭教育支援事業)	0回	—	コロナ禍時に、講座の代わりに情報提供を行うことを目的とし発刊したが、講座が復活したため、発刊しなかった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	なべかけ千人展	公民館利用団体の活動成果の発表の場を提供し、各種活動の普及を促進するとともに、利用者相互の交流を図り、地域の輪を広げる。	11月9日 11月10日	(1,000人)	千人展へ向けた作品作りに意欲を持ち、利用者相互の交流を図り、地域の輪を広げることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館の利用・避難所開設時において安全安心に利用できるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	—	・支障木伐採・体育館に自動火災報知設備増設工事を行った。・多目的トイレ鍵修繕・外灯用タイマースイッチ修繕・体育館カーテンレール修繕を行い環境を整えることができた。	
2	スマート公民館に向けた取組（市民、利用団体）	公民館の利便性の向上に必要なシステムの充実及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入した。	通年	—	R6年1月10日より、オンライン予約システムが導入され、利用者にも浸透し、利便性が図られた。	
3	なべかけ千人展	公民館利用団体の活動成果の発表の場を提供し、各種活動の普及を促進するとともに、利用者相互の交流を図り、地域の輪を広げる。	11月9日 11月10日	1,000人		施策6-1再掲

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	月1回発行	—	講座の募集や、公民館行事等の情報提供をタイムリーにお知らせすることができた。	
2	ホームページ等での事業募集	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、ホームページ等で広報する。	随時	—	市民に公民館活動をPRできた。	
3	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）	エール那須塩原家学(うちがく)プロジェクトの一環で、公民館地域・事業等の紹介をインターネットで配信	通年	—		

令和6(2024)年度 東那須野公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	おもと大学 (65歳以上の地区 内住民)	地区内の65歳以上 の高齢者を対象に、 教養講話、移動教 室、体力づくり、音 楽会、ものづくり等 を実施した。	5月～12月 (全8回)	65人 (294人)	従来の参加型で開 催。音楽会では全員 で合唱するなど、高 齢者の生きがいづく りや交流の促進を図 ることで、高齢者の 心身の衰え予防等に 貢献することができ た。	
2	【新規】 おとなセミナー (18歳以上の地区 内成人)	地区内の18歳以上 の成人を対象に、教 養講話等を実施し た。	5月～8月 (全4回)	4人 (14人)	おもと大学との共催 で教養講座等を実施 し、高齢者との交流 も交えて幅広い知識 の構築に貢献するこ うができた。	
3	東那須野わんぱく 少年団 (地区内児童)	主に小学校低学年と 保護者を対象に、も のづくり、ダンス体 験、星空観察、野外 昆虫観察、調理実習 等を実施した。	7月～10月 (全5回)	60人(児童の み) (103人) ※延べ人数内訳 児童60人 保護者43人	普段、学校や家庭で は体験できないよう な多種多様なプログ ラムを実施し、アン ケート結果では、児 童と保護者ともに毎 回高い評価を得た。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第20期東那須野お はやしクラブ (地区内児童)	地区内の小学生を対 象に、地元の保存会 を講師として、週一 回ペースで、おはや しを練習する教室を 開設した。	6月～11月 (全25回)	17人 (292人)	コロナが終息し、多 くのイベントが再開 したことにより、練 習の成果を披露する 機会が増え、受講生 のモチベーション アップにもつながっ た。	
2	第40回東那須野地 区自治公民館対抗 ソフトボール大会 (地区内18歳以上 の成人)	地区内の成人向け体 育事業として、自治 公民館対抗のソフト ボール大会を実施す る。	6月9日	96人	昨年度まで地区内男 性向けの体育事業で あったが、多くの地 域住民の参加を促す 目的で、今年度から 女性も参加できる大 会に変更した。6 チームがしのぎを 削って大会を盛り上 げた。	
3	第9回東那須野地区 自治公民館対抗さ いかつぼーる大会 (地区内18歳以上 の成人)	地区内の成人向け体 育事業として、自治 公民館対抗のさいか つぼーる大会を実施 した。	7月7日	35人	昨年度まで地区内女 性向けの体育事業で あったが、多くの地 域住民の参加を促す 目的で、今年度から 男性も参加できる大 会に変更した。4 チーム総当り戦で熱 戦を繰り広げた。	
4	【新規】 箔絵体験講座 (市民)	長年にわたり受け継 がれてきた伝統工芸 の技術に触れ、「も のを大切にする」日 本の文化を再認識す る機会とする。	6月 (全2回)	16人 (31人)	作業内容は比較的難 易度が高かったが、も のづくりに関心のある 方が受講していた ため、混乱なく作業 することができた。 アンケート結果の満 足度も高く好評で あった。	市民大学連携講座

5	【新規】 一貫張り体験講座 (市民)	長年にわたり受け継がれてきた伝統工芸の技術に触れ、「ものを大切にする」日本の文化を再認識する機会とする。	9月～10月 (全3回)	23人 (68人)	アンケート結果から、受講生の多くが作業内容が難しいと感じたことがうかがえるが、講師の丁寧な指導により、全員がそれぞれ納得の一品を完成することができた。受講生の満足度も大変高かった。	市民大学連携講座
6	【新規】 夏休み宿題サポート教室 (地区内児童)	地区内の小学生を対象に3コースをそれぞれ1日、計3日間実施した。	7月～8月 (全3回)	(99人)	子ども会連合会と共催で実施した。「自由工作」、「絵画」「書道」の3コースを実施し、夏休み中の課題サポートだけでなく、自ら課題に向き合う自立心の向上に繋げることができた。	
7	第10回こども書道教室 (地区内児童)	地区内の小学生を対象に冬休み1日(午前、午後)実施した。	12月21日	28人	人気の教室のため、午前と午後の2部制で実施した。冬休み中の課題サポートや礼儀作法の習得に貢献した。	
8	第16回東那須野地区シルバースポーツ大会 (地区内高齢者)	地区内の高齢者の交流と日頃の体力づくりの成果の発表として、5種目のスポーツ大会を実施した。	10月13日	参加者 7団体102人 ボランティア 6人	コロナ前より参加チームが減少したが、競技を通じて心身のリフレッシュ、親睦が図られた。また、中学生ボランティアが参加し、場を大いに和ませた。	
9	ハイキング (地区内住民)	足利市の織姫公園付近を歩きながら、参加者の健康アップと親睦を図ると共に、足利の歴史について学習した。	9月29日	14人	午前中は織姫公園付近を参加者と歩き、午後には足利学校、銭阿寺を見学することで足利の歴史を堪能できた。アンケート結果も好評だった。	
10	【新規】 健康ハツラツ講座 (地区内住民)	地区内の成人向け健康講座として、高齢者や運動初心者の方でも取り組みやすい「健康柔(やわら)体操を実施した。	9月29日	31人 (81人)	健康維持のために考案された「健康柔(やわら)体操」を実際に行い。普段使わない筋肉を動かすことで健康維持の改善を図る事ができた。アンケート結果も好評だった。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	【新規】 ブリヂストン栃木工場見学 (市民)	普段は見ることができない工場内を見学することで、地域企業の役割を学習した。	10月16日	33人	募集定員を大幅に超える申込みがあったことから、関心の高さがうかがえる。工場職員の説明を聞くことで、様々な角度から地域に関する学びの場を提供することができた。アンケート結果でも高評価を得た。	市民大学連携講座

2	【新規】 プログラミング教室 低学年 (地区内児童)	小学校低学年を対象に、プログラミングの基礎について学習した。	7月 (全3回)	12人 (36人)	保護者同伴での参加であったが、親子で真剣に受講していた。プログラミング楽しさを学ぶきっかけ作りができた。講師の助手として専門学校生の協力も得られた。
3	プログラミング教室 高学年 (地区内児童)	小学校高学年を対象に、プログラミングの基礎について学習した。	6月～8月 (全4回)	12人 (39人)	プログラミングソフト「スクラッチ」を使用して、様々なゲーム作りを体験することにより、プログラミングへの興味を持つきっかけ作りができた。最終回では、保護者向けの発表会を行い、制作したゲームを受講生毎に披露した。
4	エジソンドリーム教室（科学工作） (地区内住民)	小学校高学年を対象に、プログラミングや化学工作の基礎について学習した。	6月～12月 (全4回)	39人	身近な材料を使用して、科学工作の基礎を学ぶことにより科学への興味を持つきっかけ作りができた。出来上がった作品を最後に保護者の前で披露した。
5	スマートフォン活用講座 ～もうひとりでできるもん！～ (地区内住民)	スマートフォン初心者から少しステップアップを目指し、初級～中級向け講座を実施した。	2月 (全4回)	12人 (45人)	スマホの安全な使い方、カメラ機能・QRコードの活用やLINEなどの便利機能を使いこなすことを目的とした講座を実施した。各自が機器操作をしながら繰り返し学習することで、基本的な操作の定着を図った。
6	なすしおばら生涯学習MILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館事業や地域イベント等の紹介を実施した。	通年		公民館ロビーに設置されているモニターを通して、公民館利用団体の活動内容、公民館主催事業、地域イベントの動画等を、一年を通して発信した。

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第10回みね山花まつり (市民)	東那須野公園（みね山）において、おはやしの演奏やお楽しみ抽選会等のイベントを実施した。	3月31日	500人	コロナ後、ようやく通常通りのイベント開催となり、多くの来場で賑わった。エールなすしおばらの事業で炊出し訓練として巻狩鍋を作り、提供された。	

2	新庁舎建設用地の有効活用（植栽ゾーンにおける種まき）	新庁舎用地において、地域住民と地元小・中学生の協働によるひまわりの植栽（種まき）を実施した。5月は雨天のため中止。	5月28日 （中止） 6月1日	72人	新庁舎用地の空き地（約10,000㎡）にひまわりの植栽（種まき）を実施した。地元地域の良好な景観づくりに携わることで、子どもたちの自信と郷土愛の育成につながった。猛暑の中、ひまわり畑の草取り、周辺用地の草刈りなど、多くの地域住民が積極的に参加協力して環境整備に携わった。
3	絵本と出会うまちたんけん	地区内の小学1・2年生親子を対象に那須塩原駅周辺のまちたんけんと訪問先での絵本の読み聞かせを実施。学校と地域の交流促進を図った。	6月15日 （1回）	親子9組 18人	中学生のボランティアや民生委員児童委員などの支援もあり、地域学校協働本部事業として地域を知り、3校の児童・生徒・保護者、地域住民との交流や仲間づくりを行うことが出来た。
4	みんなの会議	地域住民と児童生徒が一堂に会して、地域の祭りやイベントの企画運営や地域の移り変わりについて話し合った。	5月2日 2月18日	42人 49人	地域の伝統行事である盆踊り大会の企画運営について、ふれあい推進協議会役員と小・中学生でワークショップを実施した。地域学校協働本部会議との合同開催による会議では、東那須野地区の今昔についてワークショップを実施した。
5	東那須野地区ふれあい盆踊り大会（市民）	那須塩原駅東口市営駐車場において、盆踊り大会を企画した。	8月16日 （中止）	—	みんな会議での意見を踏まえ、小・中学生ボランティアが「子どもお楽しみ会」を企画した。開催に向けて準備を進めてきたが台風7号の接近に伴い開催中止となった。
6	児童作品展（子ども会会員）	夏休み中に、地区子ども会に所属している小学生の絵画、工作、書道を展示した。（出展数71点）	8月18日～ 8月23日	87人 （来場者数）	夏休み期間中に作品づくりを行うことによって、児童の健全育成を図ることができた。宿題サポート教室で作成した工作や絵画等、多数の出展があった。
7	東那須野公園水仙植栽（地区内住民）	東那須野公園（みね山）において、水仙植栽事業を実施した。	11月16日	64人	自治会を中心に、小中学生ボランティア、地元企業（ブリヂストン）も参加し、地域活性化の取組を継続することができた。
8	那須野が原開拓まつり（市民）	新庁舎建設予定地前公道において、巻狩鍋の配布やステージでの巻狩太鼓等披露、流し踊りと山車の練り歩きを実施した。	10月20日	10,000人	実行委員会の委員として、東那須野地区ふれあい推進協議会が関わり、「郷土愛を育て、青少年の健全育成と産業の振興」を図ることができた。

9	東那須野地区花市 (市民)	那須塩原駅東口市営 駐車場において、地 域に継承される新年 を祝う祭りを実施し た。	1月13日	900人	豚汁販売や射的、昔 の遊び、子どもおは やし、なしおレン ジャーのステージパ フォーマンス、お楽 しみ大抽選会など大 いに盛り上がった。 地元企業が花木販売 を行い、花市らしい 風情が見られた。	
10	花いっぱい！ 夢いっぱい！ のおもてなし (大原間小) (波立小)	児童が校内で育てた ミニひまわりの鉢植 えをＪＲ那須塩原駅 構内や市役所に設置 した。 (地域学校協働本部 事業)	5月～8月	(118人)	児童が種をまき、育 てたミニひまわりの 鉢植えをＪＲ那須塩 原駅構内や市役所に 設置し、新庁舎建設 用地のひまわり畑を ＰＲするとともに本 市に訪れる人々を花 でもてなした。	
11	大原間文化祭 (大原間小)	地域の協力団体等 による各種体験活動 を実施することで、地 域との交流や子供た ちの表現力の向上を 図った。 (地域学校協働本部 事業)	11月30日	1,111人(児童 611人、PTA関 係500人) 講師28団体	地域の方々の協力に よって、多種多様な 体験を行うことが出 来、地域との絆を深 められた。	
12	大原間小学校クラ ブ活動 (大原間小)	地域の指導者による 各種体験活動を実施 することで、地域と の交流や伝統文化へ の理解向上を図っ た。 (地域学校協働本部 事業)	5月～2月 (全25回)	13人 (325人)	地域伝統芸能の三本 木獅子舞を体験する ことにより、地域の 歴史や伝統に興味を 持つきっかけ作りに なった。	
13	波立小学校花苗植 え活動 (波立小)	全校生と教職員、保 護者が協力して、環 境美化活動(花苗植 え)を実施した。 (地域学校協働本部 事業)	6月14日 11月7日	86人 86人	花苗を植えることで 自然に対する愛情を 育むとともに、道路 沿いの花壇を整備す ることを通して、地 域との連携を図るこ とができた。	
14	波立小学校門松づ くり (波立小)	地区の方に門松づく りを教えていただき ながら、友達と協力 して門松をつくっ た。 (地域学校協働本部 事業)	10月26日	23人	日本の伝統文化であ る門松づくりの体験 を通して、その良さ を感じることができ た。	
15	波立小学校感謝の 会 (波立小)	日頃お世話になっ ている地域の方たち へ、感謝の手紙朗読 と花束贈呈などを 行った。 (地域学校協働本部 事業)	11月23日	158人	日々の学校生活にお いて様々な人たちに 支えられていること に気づき、会を通し て、日頃からお世話 になっている方たち へ、児童から直接感 謝の思いを伝えるこ とができた。	
16	東那須野中学校み んなで作る花壇づ くり (東那須野中)	学校敷地内の花壇整 備を実施した。 (地域学校協働本部 事業)	6月5日～12日 11月11日～ 15日	72人 45人	花壇づくりの体験を 通して、生徒の環境 美化意識の向上を図 ることによって、地 域環境美化の意識を 育むことができた。	
17	東那須野地区ふれ あい盆踊り大会の 企画・運営協力 (東那須野中)	地域の盆踊り大会の 企画・運営に協力 し、地域の人との交 流や郷土愛を深め、 将来の東那須野地区 のまちづくりの担い 手を育てた。 (地域学校協働本部 事業)	8月16日 (中止)	24人	台風7号接近のため 中止	

18	東中祭 (東那須野おはやし保存会)	東中祭で全校生及び保護者、地域の人たちにおはやしを披露し、地域の伝統芸能親子で触れる機械となった。 (地域学校協働本部事業)	11月2日	663人	伝統芸能であるおはやしを親子で見学し、伝統芸能について魅力に触れる機械、地域を愛する心の育成の機会になった。後継者の育成に向けての啓発にもつながった。	
19	第29回東那須野公民館まつりの企画・運営協力 (東那須野中)	地域の祭りの企画・運営に携わることで、お祭りの大切さや地域の良さを知ることにより、地域の人との交流や郷土愛を深めた。 (地域学校協働本部事業)	11月24日	15人	公民館まつりの運営ボランティアとして参加したことで、地域との交流を深め、地域の良さを知ることができた。郷土愛を深める良い機会となった。参加者、来場者からたくさんのねぎらいの言葉をいただいた。	
20	東那須野わんぱく少年団 (地区内児童)	主に小学校低学年と保護者を対象に、ものづくり、ダンス体験、星空観察、野外昆虫観察、調理実習等を実施した。	7月～10月 (5回)	60人(児童のみ) (103人) ※延べ人数内訳 児童60人 保護者43人	普段、学校や家庭では体験できないような多種多様なプログラムを実施し、アンケート結果では、児童と保護者ともに毎回高い評価を得た。	施策1-3再掲
21	第20期東那須野おはやしクラブ (地区内児童)	地区内の小学生を対象に、地元の保存会を講師として、週一回ペースで、おはやしを練習する教室を開設した。	6月～11月 (25回)	17人 (292人)	コロナが終息し、多くのイベントが再開したことにより、練習の成果を披露する機会が増え、受講生のモチベーションアップにもつながった。	施策2-1再掲
22	プログラミング教室 低学年 (地区内児童)	小学校低学年を対象に、プログラミングの基礎について学習した。	7月 (3回)	12人 (36人)	保護者同伴での参加であったが、親子で真剣に受講していた。プログラミング楽しさを学ぶきっかけ作りができた。講師の助手として専門学校生の協力も得られた。	施策3-2再掲
23	プログラミング教室 高学年 (地区内児童)	小学校高学年を対象に、プログラミングの基礎について学習した。	6月～8月 (4回)	12人 (39人)	プログラミングソフト「スクラッチ」を使用して、様々なゲーム作りを体験することにより、プログラミングへの興味を持つきっかけ作りができた。最終回では、保護者向けの発表会を行い、制作したゲームを受講生毎に披露した。	施策3-3再掲
24	【新規】 夏休み宿題サポート教室 (地区内児童)	地区内の小学生を対象に3コースをそれぞれ1日、計3日間実施した。	7月～8月 (3回)	99人	子ども会連合会と共催で実施した。「自由工作」、「絵画」「書道」の3コースを実施し、夏休み中の課題サポートだけでなく、自ら課題に向き合う自立心の向上に繋げることができた。	施策2-4再掲
25	第10回こども書道教室 (地区内児童)	地区内の小学生を対象に冬休みそれぞれ1日(午前、午後の2回)ずつ実施した。	12月21日	28人	人気の教室のため、午前と午後の2部制で実施した。冬休み中の課題サポートや礼儀作法の習得に貢献した。	施策2-5再掲

26	地域学校協働本部 会議 (管内小中学校)	地域学校協働本部事業の推進に関し、関係団体で構成した会議を開催した。 (地域学校協働本部事業)	5月21日 2月18日	45人 24人	令和7年度からコミュニティ・スクール制度導入に向けて、参加者を拡大させて情報共有を図った。 「みんなの会議」との合同開催により、小・中学生とワークショップを実施した。	
27	東那須野公民館運営協力委員会	公民館運営協力委員会の支援・連携・協力を行った。	通年		コロナが落ち着き、多くの事業が再開できたことから、スポーツ大会、公民館まつりなどのイベントにおいて、協力委員の活躍の場が広がった。	
28	東那須野地区子ども会連合会	子ども会連合会の運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年		児童作品展や公民館まつり模擬店での、準備・運用・片付け等において、理事の連絡調整を図った。	
29	東那須野地区婦人会	婦人会事業の支援・連携・協力を行った。	通年		婦人会として活発な事業活動が実施された。各事業で連携、支援を行うことができた。	
30	東那須野地区自治公民館連絡協議会	東那須野地区の自治公民館連絡協議会での、運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年		ソフトボール大会、さいかつぼーる大会、公民館まつりなど協力委員と共に運営の支援を行った。	
31	東那須野地区ふれあい推進協議会	コミュニティの運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年		多くの事業を実施することができた。 新庁舎用地のひまわり畑植栽事業における種まきや草刈り等、盆踊り大会や那須野が原開拓まつり等イベントの運営に大勢の方が関わった。年間を通じての各種会議の運営や、イベントの準備等の支援を円滑に行うことができた。	
32	東那須野公民館利用団体連絡協議会	公民館の適正利用に関する協議・調整、年1回の施設清掃活動にあわせて消防訓練を実施した。	通年		公民館定例利用団体の連絡調整を行い、館の適正な利用について啓発を図った。 令和7年度からの原則有料化について、事前説明をおこなった。	
33	東那須野地区遺族会	遺族会の運営及び事業の支援・連携・協力を行った。	通年		会員の減少、高齢化が進み、会の活動が難しい状況にある。会の円滑な運営のために引き続き支援する必要があるが、会の今後の在り方について議論することが必要。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	だっこ！(親子ふれあい講座) (地区内未就学児と保護者)	未就学児と保護者を対象に、子育てについての講話や体操、ものづくり、リズム教育等を通じて、家庭教育の促進を図る。(家庭教育支援事業)	6月～12月 (6回)	14組30人 保護者14人 幼児16人 (51人)	家庭で孤立しがちな保護者同士の情報共有や仲間づくりの場として、親子あるいは親のみで活動し、交流することができた。	
2	大原間小学校家庭教育支援事業 (大原間小)	大原間小学校学年部会と公民館が連携し、家庭教育に関する学習、親子交流事業を実施した。(家庭教育支援事業)	6月～12月 (6回)	1,128人	学年部会行事を一堂に会して実施。同学年の保護者同士の情報交換が行われ、家庭教育の支援につながった。	
3	波立小学校家庭教育支援事業 (波立小)	波立小学校PTA学年部会と公民館が連携し、家庭教育に関する学習、親子交流事業を実施した。(家庭教育支援事業)	6月～2月 (5回)	142人	全学年の親子活動を通して保護者同士の情報交換を行い、家庭教育を支援することができた。	
4	東那須野中学校家庭教育支援事業 (東那須野中)	東那須野中学校PTAと公民館が連携し、家庭教育に関する学習を実施した。(家庭教育支援事業)	9月～12月 (3回)	(1,145人)	保護者がともに活動する機会を提供することで、家庭教育を支援することができた。	
5	東那須野中学校区合同家庭支援事業	3校合同の事業を実施。(視察研修、おかしづくり) (家庭教育支援事業)	6月～12月 (2回) (1回中止)	29人	視察研修では久光製薬とエリエールで貴重な体験を共有することができた。オーストリアのお菓子づくりを通して3校の保護者で交流を図ることができた。	
6	家庭教育通信の発行 (地区小中学校)	3校の家庭教育事業の報告を2月に発行。 (配布数1,100部) (家庭教育支援事業)	2月20日		3校の家庭教育を紹介することで相互の情報交換を通じてよりよい家庭教育支援へのきっかけとなった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第29回東那須野公民館まつり (市民)	公民館の主催講座、利用団体等の趣味の作品の展示や、学習成果の発表の場、地域親睦の場として、イベントを実施した。	11月24日	2,000人	天候にも恵まれ、多くの来場者があった。地域の学校や各種団体との連携を強化した結果、中学生ボランティアの活躍の機会を上げることができた。関係者アンケートの結果も大変好評だった。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的改修及び維持管理に必要な修繕を実施した。	通年		利用者が安全安心に利用できる環境を整備するために、年度を通して、施設の維持管理に努めることができた。	

2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備を導入し、実践した。	通年		オンライン予約システムが市内全公民館で運用が開始されたことにより、市民の施設利用において、オンライン予約が定着し、より利便性が向上した。	
---	---------------	--	----	--	--	--

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	東公だより発行	地区住民に公民館事業や地域の情報を提供した。	月1回発行		主催事業の募集や実施報告、情報提供等を、毎月、地域住民に向けて発信した。	
2	なすしおばら生涯学習MILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館事業や地域イベント等の紹介を実施した。	通年		公民館ロビーに設置されているモニターを通して、公民館利用団体の活動内容、公民館主催事業、地域イベントの動画等を、一年を通して発信した。	施策3-5再掲

令和6(2024)年度 高林公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	寄せ植え講座 (高林地区住民)	寄せ植えを通して、仲間づくりと感性豊かな心を育んだ。	5月26日 10月5日 (2回)	(55人)	花を愛でること で心に彩りを与え られるとともに、仲 間づくりにもつな がった。	
2	キラリ TAKABAYASHIラ イフアップ講座 Part3 (高林地区内の住 民)	地域でキラリ輝い て活躍している方 を講師に招き、地 域のブランド力を 高め、充実した人 生を送ることがで きるよう支援し た。 ①ハーブティ講座 ②陶芸体験 ③押し花体験	8月～10月 (全3回)	11人 (31人)	地域でキラリ輝い て活躍している方 を知ることで、地 域のブランド力を 高めることができ た。アンケートの 結果は、毎回ライ フアップにつな がったことが高評 価であった。	
3	少年教室 「わくわく体験楽 好」 (高林地区の小学 生)	地域の特徴ある環 境を利用し、学校 では体験できない 集団学習や活動 を通して、協調性 を養い、豊かな心 と創造性を育んだ。 ①スポーツチャン バラ ②夏休み木工教室 ③ハロウィンもの づくり ④クリスマスお菓 子作り ⑤冬休み書初教室	6月～12月 (5回)	(68人)	季節の行事を楽し み心豊かになっ た。アンケートで も高評価。	
4	高齢者学級 「いきいき学級」 (高林地区の高齢 者)	高齢者が心身共に 健康で過ごすため の生きがいづくり と仲間づくりを 図った。テーマは 「那須塩原市の姉 妹都市を知る」で 実施した。 ①開講式(講 話とフルート演 奏、那須のものま ねシンガーによる コンサート) ②移動教室(姉妹 都市ひたちなか 市) ③ディスコン大会 ④保育園児との交 流 ⑤閉講式(姉妹都 市オーストリア文 化セミナー&演奏 会、ちょい耳講 座)	6月～12月 (全5回)	48人 (196人)	参加者同士のコ ミュニケーション ができて、いきい きと過ごすことが できている。昨年 に引き続き参加者 のアンケートによ る満足度は高く、 参加者が3割増 加している。	

5	【新規】 ペアDEクッキング 〜世界のクリスマスを楽しもう〜 (高林地区内の住民)	世界のクリスマス料理体験を通して、異文化に触れ、多角的な視野を育んだ。 ①ドイツ(シュトーレン) ②イギリス(ミンスパイ) ③フランス(ブッシュドノエル)	12月 (全3回)	11人 (31人)	各国のクリスマス料理の解説を聞きながら実際に作ることのできる深い学びを得ることができた。また、受講者の満足度も高かった。ペアでの参加が少なかったため一人での参加も可能とした。	
6	大人の社会科見学 (高林地区内の住民)	とちぎの産業、歴史、文化から持続可能なまちづくりを学び、参加者同士のコミュニケーションを図った。 ①清原工業団地マルハニチロ工場見学 ②宇都宮LRT乗車体験 ③県庁見学	3月7日	30人	定員を30人のところ51人の応募があり、抽選で参加者を決定した。特にLRT乗車のニーズが高かった。今後もニーズにマッチングした企画を取り入れていきたい。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	【新規】楽しくきれいに健活セミナー (市民)	健康で生き生き過ごせるために、楽しく健康な身体づくりを目指すための学びの場を提供した。 ①エアロビ・かんたんピラティス ②ヨガ ③美温活リンバストレッチ	6月 (全6回)	37人 (107人)	定員を20人3回で募集したところ、倍の40人の応募があった。応募者が参加できるように講師と相談の上1回ごとの時間を短縮し同日、人を入れ替えの上で同講座を2回開催することに変更した。 6月を健活の月として、受講者の健康への意識を高めることができた。受講者からは、非常に満足だった回答を得た。	市民大学連携講座
2	郷土の歴史講座 (地元が語る郷土の歴史) (市民)	那須塩原市のシンボルの一つとなっている青木周蔵邸、青木周蔵の生きた時代、その人柄を古文書や手紙から読み解いていく郷土の歴史を学ぶ講座。 第4回目は、現地調査として福島県の鶴ヶ城周辺の史跡を巡った。	10月 (全4回)	36人 (120人)	受講者の学ぶ意欲が高く、講師のスキルも高く質問への回答も的確であった。受講者から次年度実施の要望が多く高評価の講座であった。	市民大学連携講座
3	グラウンドゴルフ大会 (高林地区内の高齢者)	グラウンドゴルフを通して体力の維持と親睦を深めた。	5月・10月 (全2回)	16人 (29人)	体力の維持と親睦を深め明るい地域づくりができた。	

4	ソフトボール大会 (高林地区内の住民)	ソフトボールを通じた体力向上と親睦を深め明るい地域づくりが図られた。	7月7日	239人 (13チーム) 12自治公民館	スポーツを通じ親睦を深め地域の人の同士のコミュニケーションを図ることができた。気温が非常に高く、熱中症の危険があるため開催時期の検討が必要。	
5	輪投げ大会 (高林地区内の高齢者)	輪投げを通じた体力維持と親睦を深め明るい地域づくりを図った。また地域の「高林麺道楽」慰問による蕎麦ぶるまいにより明るい地域づくりにつながった。	6月12日	32人	高林福寿会連合会と共催。輪投げを通じ親睦を深め、笑顔があふれる事業となった。高林麺道楽の蕎麦ぶるまいにより地域の活力増につな	がった。
6	さいかつぼーる大会 (高林地区内の住民)	さいかつぼーるを通じた体力向上と親睦を深め明るい地域づくりが図られた。	10月6日	156人 (10チーム) 6自治公民館	中学生から大人まで幅広く参加者があり、スポーツを通じ親睦を深め地域の人の同士のコミュニケーションを図ることができた。	
7	ボウリング大会 (高林地区内の住民)	ボウリングを通じた体力向上と親睦を深め明るい地域づくりが図られた。	3月2日	41人	高林子ども会育成会連絡協議会と共催。子どもから腕自慢の大人が参加。世代間交流とともに親睦を深め地域の人の同士のコミュニケーションを図ることができた。	
8	いきいき百歳体操 (高林地区内の住民)	健康づくり及び仲間づくりによりいきいき明るい地域づくりにつながった。	4月～3月 (毎週水曜日) (全27回) 8月、1月を除く	14人 (307人)	年度はじめに保健指導及び、体力測定を実施。年度末にも専門家による講話を実施。毎週継続的に参加することで、健康を維持できるとともに、高齢者が孤立しない仲間づくりもできた。昨年からの仲間づくりの成果として、昨年からの参加者数が1.6倍に増加した。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	シニアスマホ講座 (高林地区内の高齢者)	スマートフォン講座で安全な使い方を学ぶとともに動画編集を行った。市のみるメールや市のLINE登録を行い必要な情報を得られるよう学んだ。	9月 (全3回)	12人 (36人)	スマホの使い方の他に、スマホに保存された写真などを動画に編集し、思い出を形にできた。アンケート結果でももっと学びたいとの高評価を得た。	

2	小中学生のプログラミング教室 (高林地区内の小中学生)	プログラミングを学ぶことで、ものづくりへの関心と創造性を育み、マイクロビットを使って、プログラミングで動きをつけ楽しく学んだ。	1月 (全3回)	4人 (10人)	参加者はとても興味深く受講。ものづくりへの関心が深まった。アンケート結果でも高評価。講師の助手として専門学生や中学生ボランティアの協力を得た。参加者が少なかったことが課題。	
---	--------------------------------	---	-------------	-------------	--	--

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域学校協働本部事業「高林中学校地域学校協働本部会議」	事業の情報交換等による学校と地域の連携を図った。 (地域学校協働本部事業)	6月、2月 (2回)	19人 (36人)	会議は、地域課題を話し合い「子どもの課題は、親の課題つまり地域課題」であることを共有し、地域活動する上でできる取組を共有。次に進む道しるべを確認することができた。	
2	地域学校協働本部事業「高林そばフェスタ(高林中)」	「全校そば打ち」として地元蕎麦打ちグループから指導を受け一緒にそばを打ち味わうことで、地域に根付いているそば文化を地域のそば職人より学ぶことにより、地域への郷土愛を育んだ。 (地域学校協働本部事業)	9月15日	97人	地域団体に指導を受けながら蕎麦打ちを体験することで、地域産業に対する理解を深め、郷土愛を育むことができた。一方敬老会との共同開催は、生徒の学習時間取得の面で厳しいため今後、敬老会との開催の在り方の調整が必要。	
3	地域学校協働本部事業「伝承文化の継承」(高林小)	高林獅子舞や琴の体験を通じて地域の伝統に学ぶ体験活動を学んだ。 (地域学校協働本部事業)	通年	(145人)	郷土芸能を学ぶことで、郷土愛を育むことができた。	
4	地域学校協働本部事業「青木フェスティバル」(青木小)	相撲大会を開催。青木コミュニティ主催の「青木周蔵感謝祭」も同時に学校で開催され、地域の方たちが集う場となった。 (地域学校協働本部)	11月4日	196人	学校と地域コミュニティの協働で郷土愛を育むことができた。	
5	高林地区自治公民館連絡協議会	各種事業に対する事業や事務等の支援、協力を行った。	通年	25人 (395人)	公民館事業とタイアップすることで地域情報を知ることができた。	
6	青木地区コミュニティ推進協議会	各種事業の情報共有を図った。	通年		事業の情報共有により地域情報を知ることができた。	

7	高林地区福寿会連 合会	各種事業に対する 事業や事務等の支 援、協力を行っ た。	通年	35人 (636人)	公民館事業とのタ イアップで多くの 方に講座や事業に 参加していただい た。 特に今年は、倍セ ンまつりへの5年 ぶりの出店が復活 できた。	
8	高林地区子ども会 育成会連絡協議会	各種事業に対する 事業や事務等の支 援、協力を行っ た。	通年	42人 (141人)	育成会事業を開催 するとともに公民 館主催の少年教室 と共催し実施し た。	
9	高林地区ソフト ボール愛好会 (高林地区内の住 民)	高林ソフトボール 愛好会と共催し、 高林中学校を会場 に分館対抗ソフト ボール大会の練習 と審判講習などの 指導を行った。	6月 (5回)	15人 (90人)	4年ぶりのスポー ツ事業の再開にあ たり、スポーツを 通じ親睦を深め地 域の人同士のコ ミュニケーション を図ることができ た。	
10	普通救命講習会及 び消防訓練	高林地区女性防火 クラブ主催の普通 救命講習会開催時 に公民館の消防訓 練を同時開催。地 域の参加者と共に 講習会を受講す ると共に公民館の 消防訓練を行い、 消火器の使用方 法を学ぶことで地 域ぐるみで災害時 に備えた情報共有 を図れた。	1月22日	19人	地域ぐるみで災害 時に備えた情報共 有行なったこと で、いざという時 の地域ぐるみでの 意識の向上につな がった。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高林小学校 家庭教育学級	家庭教育支援事業 として、児童と保 護者を対象に行っ た。 ①夏休み親子もの づくり(シードー ム) ②リズムDEコミュ ニケーション(対 象:2学年児童と 保護者) (家庭教育支援事 業)	7月~10月 (全2回)	(49人)	スキンシップによ り子育ての気づき の学習と保護者同 士の交流が図れ た。 視察研修は、PTA 研修部廃止のため 中止となった。	

2	青木小学校 家庭教育学級	家庭教育支援事業として、児童と保護者を対象に行った。 ①開講式（対象：1年児童と保護者） ②夏休み親子ものづくり（シーグラスのサマーライト） ③視察研修（保護者）大谷方面 ④親子で革細工づくり（対象：6年児童と保護者） ⑤地域キラリ!! 応援講座（カカオの魅力） ⑥閉講式（対象：6年児童と保護者） （家庭教育支援事業）	4月～3月 （全6回）	(140人)	夏休みのものづくりや視察研修など保護者の研修意識が高く楽しみながら事業が実施できた。子育ての気づきの学習と保護者同士の交流が図れた。	
3	高林中学校 家庭教育学級	家庭教育支援事業として、保護者対象に地元珈琲店より美味しい珈琲の入れ方と効能を学ぶ講座を企画したが中止となった。 （家庭教育支援事業）	7月21日（中止）	—	最小人数5人に達しないため中止となった。	
4	3校合同講演会 （子育て講演会）	講話 テーマ 「肥満と生活習慣病～子どもの将来のために、今できること～」 講師：市健康増進課保健師高橋 智美	10月9日	24人	高林中学校区の保護者対象に、子育てに関する悩みや解決策を共有し、気づきを共有できた。	
5	サマーイベント	高林地区子ども会育成会連絡協議会主催で地区内小学生の保護者対象に行った。ものづくり、カレーづくり、星空観望会と3部構成で行った。「地域応援いいトコ撮りチャンネル」にて活動の様子をYouTube発信を行った。参加者の交流と夏休みの楽しい思い出づくりにより親子・地域の絆を深められた。	8月18日	30人	児童と保護者が、地域の森林組合の協力を得て、県産材を使用したものづくりを体験した。楽しい夏の思い出づくりとなった。 また、いろいろな体験から学びを得ることができた。YouTube発信により、イベント情報を発信できた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高林公民館まつり (倍センまつり)	利用サークルの作品展示及びステージ発表、模擬店、キッチンカー等出店を行った。 テーマ「Ecoでウェルビーイング」を掲げカーボンニュートラルの取組PRを実施。環境クイズラリーや環境ブースの設置により「エンジョイecoなすしおぼら」とも連携し環境に優しいイベント啓発を行った。 高林中学校生徒や、利用団体によるステージイベントや福寿会や育成会、地元蕎麦団体の蕎麦出店や地域の駄菓子屋の出店により、地域交流の促進が図れた。 作品展示期間を6日間設けた。	11月17日 展示期間 11月18日～ 24日(23日は祝日のため除く)	(1,000人)	まつり開催に合わせ、関係機関と連携することで、来場者が大幅に増えた。また、飲食を提供する出店が増えたことで、まつりに長く留まる人数が増え、地域の世代間交流が促進された。まつりのアンケートは、まつりの内容についても高評価であった。1週間の展示により当日まつりに出席できない方にも来場いただけることで、公民館を知っていただける機会となった。	
2	児童生徒書初展	子ども会育成会連絡協議会と共催で開催した。書初展(対象：青木小・高林小児童と高林中学校生徒)	1月18日～2月3日	200人	地域住民の文化への理解と交流を深めることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施した。 ○トイレの洋式化 ○駐車場の区画線修繕 ○照明のLED化	通年		駐車場の区画線修繕により、利用者の利便性が向上したと共に、要配慮者への利便性も向上した。 トイレの洋式化により、公民館利用者の利便性が向上した。 照明のLED化により、省電力化が図られ、環境に配慮した公民館となった。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館利用の利便性向上のため、オンライン予約システムを活用する。	通年		公民館のオンライン予約システムが徐々に浸透しており、利用者の手続きの省力がなされている。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行（倍センだよ）	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行した。	月1回発行	各戸配付（自治公民館長経由）1,159世帯及びHPに掲載	公民館事業や講座の実施募集や結果など地域に向けた情報の発信がタイムリーにできた。	
2	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る） 高林公民館動画配信	「ギリシャ神話」にまつわるYouTube動画を4シリーズ19作品配信と配信動画の活用。	通年	5,250回 (25,445回)	これまで配信しているYouTube動画を講座の導入で活用。動画の活用で地域自然の素晴らしさを深めることで配信回数増となった。	
3	高林公民館事業実施動画館内配信	高林公民館まつり（倍センまつり）の様子や公民館事業でのこども事業の様子をはじめ音楽会のダイジェスト動画や、オーストリア文化セミナーの様子など姉妹都市オーストリアリンツ市の啓発動画を毎日放映。来館者に、公民館事業及び姉妹都市を知っていただく機会を提供している。	通年		公民館講座やまつりの動画を放映することで、多くの方に公民館の魅力を伝えることができた。 講座等の参加者の増加に繋がった。	

令和6（2024）年度 西那須野公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	青少年ふれあい教室「わんぱく大学」(東小児童)	次世代を担う子どもと若者を対象に、交流体験活動を通して、人間関係の構築を図りながら、地域を元気にする人づくりを目指す。	6月～2月 (全10回)	27人 (248人) (大学生延べ31人)	小学生と大学生との異世代交流の体験活動を通して、相互の人間力を育み、地域活動の活性化が図れた。	
2	女性教室「なでしこ学級」(地区内女性)	地域社会活動を行う女性の資質向上を目指して、現代的課題に目を向けた学習内容にも積極的に取り組んでいく。	6月～12月 (全7回)	22人 (106人)	女性の地域活動の向上に繋げる教室として、スマホ教室や切り絵教室などを実施。大変有意義な学びの場となり好評であった。	
3	高齢者セミナー「ときわ学級」(地区内高齢者)	高齢者の社会参加を積極的に推進し、生きがいのある人生を送るため、体験活動や健康に関する学習に意欲的に取り組んで行く。	6月～12月 (全7回)	24人 (124人)	みなさん毎回の講座を楽しみにしており、特に「芸術の秋を楽しもう」の「お能体験」では、講師の仕舞を拝見したり「高砂」を歌ったりと充実した講座であった。	
4	趣味の料理教室(市民)	働く方も対象とするため夜間に開催し、食という生活に密着した趣味を通して、個人及び家族や仲間と過ごすプライベートな時間の充実を図り、毎日を元気に過ごす一助とする。	11月～1月 (全4回)	20人 (76人)	金曜日の夜間実施とし、メニューを工夫することで働く世代の方や若い世代、男性の参加者も確保することができ、世代間の交流や助け合いがなされ、活動の活性化ができた。料理に興味を持ち自宅でも作ってみたいという受講生も多く、充実した講座となった。	市民大学連携講座
5	成人大学「竹を身近な食卓に取り入れてみませんか」(市民)	地元の自然(竹と食材)を身近な暮らしに取り入れることで、参加者が心豊かな充実した生活を送る一助となり、更に地元の良さを再認識してもらう。	9月～1月 (全5回)	17人 (75人)	竹工芸と食のコラボは初めてであったが、市内全域から竹工芸と食に関心のある方が集まった。竹の器の製作と、竹の器を使った料理教室を実施。家で実践している方が多く、おせち料理を盛り付けて素敵だったなどの声が聞かれ好評であった。	
6	スキルアップ講座(市民)	成人大学受講者の要望により、更に竹工芸を深く追求し、より高度な技術の習得を目的とした講座を開催。	2月～3月 (全5回)	10人 (45人)	竹製の蓋付きの文箱を作成。成人大学より更に難易度の高い竹工芸を学ぶことができ、参加者の皆さんは満足していた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	健康教室「ハイキング」(地区内住民)	自然や動植物に触れ、心身の健康づくりや、親睦・交流を図る。	7月18日	16人	裏磐梯・五色沼自然探勝路コースを散策。初歩的なコースで天候にも恵まれ五色沼を満喫できた。	

2	西那須野地区コミ親善グラウンドゴルフ大会 (地区内住民)	中央地区コミュニティ協力で地域住民がスポーツを通して健康づくりと親睦交流を図る。	5月30日	中央地区 20人	他のコミュニティと比べ少数ながらも3位と健闘し、皆で喜びを分かち合った。	
3	中央地区グラウンドゴルフ大会 (地区内住民)	中央地区コミュニティ高齢者部会・体育部会協力で地域住民がスポーツを通して健康づくりと親睦交流を図る。	7月6日	25人	梅雨の蒸し暑い中であったが、具合の悪くなる方もなく、日頃の練習の成果を発揮していた。来年も参加したいとの声も多く上がり、盛会のうちに終了した。	
4	中央地区輪投げ大会 (地区内高齢者)	中央地区コミュニティ高齢者部会協力で地域の高齢者がスポーツを通して健康づくりと親睦、交流を図る。	12月7日	31人	自治会チーム同士で得点を競うことで、地域内外の交流が図られ、大変盛り上がった。	
5	中央地区親善ボウリング大会 (地区内住民)	中央地区コミュニティ体育部会協力で地域住民の親睦と健康増進のため、ボウリング大会を実施する。	2月15日	30人	毎回楽しみにしている方や久しぶりの参加に気合の入る方など、皆それぞれに楽しみ、声援ありハイタッチありの盛り上がりを見せていた。	
6	健康講座「ヨガ教室」 (地区内住民)	運動不足を解消し、体を緩めて整え、健康寿命をのばす。	11月～2月 (全5回)	14人 (61人)	参加者は体が軽くなったなどの実感があり、健康意識が高まり、講座終了後は自主サークルとして活動している。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	女性教室 「なでしこ学級」	施策1-2再掲				
2	自主グループ養成講座「フィットネス教室」 (地区内住民)	地域の方の要望により健康維持のためのフィットネス教室を開催	1月～3月 (全4回)	15人 (54人)	参加者は、リズムダンスを通して体を動かす楽しさを実感しており、自主サークルとして成立した。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域ふれあい教室 「やんちゃくらぶ」	講師に地域ボランティアや中学生の協力を得て、東小1年生から6年生を対象に、夏期休業期間中に課題対策や体験活動を通して、夏休みの思い出作りを目的とする。 (地域学校協働本部事業)	7月24日 8月7日、21日 (全3回)	(58人) 中学生ボラ 19人・地域ボ ラ9人	夏休みに、西中生及び地域ボランティアと書道や水彩画教室、新聞のスクラップ作品作り等の様々な交流学習を体験することができた。	
2	青少年ふれあい教室「わんぱく大学」	施策1-1再掲				
3	郷土芸能伝承事業 (東小児童)	「太夫塚八木節笠踊り」の伝承を目的に、保存会の指導のもと郷土芸能への理解を深め、イベント等で学習成果を発表する。	7月～2月 (全19回)	21人 (326人)	地元育成会と保存会の会員の協力、指導により郷土芸能の伝承が引き継がれている。	

4	街の音楽会	様々なジャンルの音楽を生演奏してもらい、皆で鑑賞する。地元西那須野中学校合唱部及び市内ブラスバンドの出演など中央地区コミュニティ文化部会の協力により実施する。 (地域学校協働本部事業)	12月10日	173人 (出演者及び来場者)	生の歌、生の演奏に触れて、参加者が素敵なひと時を過ごすことができた。また、世代を越えた地域住民の交流も図れた。	
5	むかしの遊びに挑戦しよう (東小児童・地区内高齢者)	生活科の授業に地域の高齢者から伝承遊びを学び、遊びを通して異世代間の交流を図り、中央地区コミュニティ協力で実施する。 (地域学校協働本部事業)	11月20日	1年生74人 地域協力25人	多くの地域の方に参加いただき、様々な昔の遊びを体験することができた。	
6	西那須野中学校「防災学習」 (西那須野中学生・地区内住民)	西那須野中学校生徒が災害時自ら考え主体的に行動できるようにするための講話や訓練体験を学習する事業を、中央地区コミュニティなどの地域住民が積極的に支援し、ともに学習しながら世代を越えた地域の輪を広げていくことを目指す。 (地域学校協働本部事業)	11月6日	参加生徒740人 地域協力7人	3年生は避難所ブース体験や避難所運営ゲームの実施、2年生は心肺蘇生や自作担架による救助体験、土嚢作りなど、1年生は災害時の情報収集や煙体験、非常食試食などを地域の方と取組めた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	東小学校 家庭教育支援事業	各種の学習会を通じ、仲間づくりを目指す。子育てについての問題に気づき、情報交換をしながら成長していくことで、親としての資質を向上させる。 (家庭教育支援事業)	3月1日	23人	親子移動教室を実施。アクアワールドでの水生生物等の観察及びお菓子工場の見学を通して、親子での学びと交流が図られた。	
2	西那須野中学校 家庭教育支援事業	保護者を対象に実施し、思春期の子どもの育て方を学び、また保護者同志子育ての話を共有する機会を持つ。 (家庭教育支援事業)	6月25日 10月24日 (全2回)	(15人)	ヤクルト工場等の見学及び切り絵作りにより保護者の交流の場を提供。子育てに関する情報共有を図ることができた。	
3	わくわく子育てネット	乳幼児を持つ保護者を対象に様々な活動や体験を通し、さらに地域社会との関わりを持ちながら子育てについて学び、保護者間のネットワークを図る。 (家庭教育支援事業)	4月～3月 (全19回)	(大人171人 子供201人)	子育てに関する情報共有を図りながら、同じ悩みや不安を持つ仲間を得る機会となっている。リトミック学習と夏祭り が特に好評。	

4	ミニ門松づくり	東小学校児童・保護者対象に、竹を使ってお正月飾りのミニ門松を制作し、お正月飾りの意味についても学んだ。中央地区コミュニティ青少年部会の協力で親子での協同作業に取り組んだ。 (家庭教育支援事業)	12月14日	39人	親子で日本の風習を学び、共に創作活動を行うことで親子の絆はもとより、家族間のコミュニケーションも図られ、大変有意義な教室となった。	
5	親子ものづくり教室	東小学校児童・保護者対象に、夏休みに親子で学ぶ機会を提供する。中央地区コミュニティ青少年部会の協力で親子での協同作業を実施する。 (家庭教育支援事業)	7月27日	20人	東小学校児童・保護者対象に、PPバンドで小物づくりを行った。中央地区コミュニティ青少年部会の協力を得て、親子で一緒にカゴとミニリースを制作した。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	西那須野公民館、中央地区コミュニティまつり	公民館事業や公民館を利用するサークルの学習成果の発表と、中央地区コミュニティが出店する模擬店などを通し、地域住民の交流の場を設け、地域連帯感を醸成する。	11月3日	来場者 1,200人	利用団体等の学習及び練習成果の発表やコミュニティ各部会の模擬店出店により大盛況であった。また、今回から飲食の模擬店の出店を再開したこともあり以前の賑わいを取り戻していた。	
2	中央地区芸能大会	中央地区コミュニティ高齢者部会協力で歌、踊りなどの芸能発表を通して親睦と交流を図る。	—	—	出演者が少なくなったため中止	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	—	今年度は、照明のLED化、空調機集中管理コントローラーの修繕等を実施し環境が改善した。来年度は空調機の本体等の修繕を実施する。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年	—	オンライン予約システムは利用者に浸透し、好評を得ている。シェアスペースについては、地域・利用者に広く活用されている。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行 「公民館口ビー」	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	随時発行	4月～3月 (全5回)	概ね地区内住民に公民館・コミュニティ情報を周知、そしてPRすることができた。	

令和6(2024)年度 狩野公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	学校外活動事業少年教室 「ひばりのこ」 (槻沢小児童)	創作、運動、レクリエーション、移動教室を通して、豊かな心を作り、学年を超えた仲間づくりをする。	6月～2月 (全9回)	14人 (86人)	運動や調理実習、ものづくり、学習など、幅広い内容を体験しながら、学年の垣根をこえて仲間づくりができた。保護者や兄弟の協力があり、工夫や発見など、一人ひとりが成長できた。	
2	シニア倶楽部 「しののめ」 (地区内高齢者)	講話、創作活動、レクリエーション、移動教室等とおして、高齢者の生きがい、仲間づくりを図る。	5月～1月 (全9回)	29人 (171人)	身体を動かす内容、ものづくり、オンラインでのリモート講座、調理や座学など、幅広い内容を行うことができた。 今年度は受講生が増加し、少年教室との合同事業や移動教室では、受講生同志で声を掛け合いながら積極的に活動することができた。	
3	夏休み宿題お手伝い講座 「親子ものづくり」 (槻沢小児童)	夏休みの課題を製作するものづくり講座として開催。学習の場の提供と長期休業期間の親子での関わりや共同作業を目的として実施。	7月28日	児童11人、保護者10人	親子で、木の貯金箱を製作した。大工さんたちのご指導により、くぎを打ち本格的な木工教室を行うことができた。	
4	夏休み宿題お手伝い講座 「習字」 (槻沢小児童)	夏休みの課題を製作する習字教室として開催。学習の場の提供と長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施	7月31日	4人	参加者は少ないものの、落ち着いて下野教育書道展の課題に取り組んでいた。講師が一人ひとりを丁寧に指導していた。	
5	冬休み宿題お手伝い講座 「習字」 (槻沢小児童)	冬休みの書初め教室として開催。学習の場の提供と長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施	12月27日	8人	下野教育書道展の課題に取り組んだ。子どもたちは一筆一筆丁寧に筆を運び、熱心に課題に取り組んでいた。	

6	はじめての沖縄三線教室 (市民)	沖縄の伝統的な楽器である三線の弾き方を学習し、音楽を楽しみながら参加者同士の交流を図る。	7月～8月 (全5回)	9人 (41人)	缶で作るカンカラ三線の組み立てを行い、三線の仕組みや弦の張り方を学ことができた。沖縄の言葉や琉球音階について講義があり知識を深めることができた。最終日にはグループに分かれて演奏を披露し、受講者は緊張しながらも演奏を楽しんでいた。	市民大学連携講座
7	お正月の寄せ植えづくり (地区内住民)	季節の草花で寄せ植えを作り、お正月を迎える準備をする。	12月25日	10人	寄せ植えのコツや育て方を学び、自分のペースで寄せ植えを楽しんだ。葉牡丹など季節の草花を使い、お正月らしい寄せ植えができた。	
8	【新規】キッチン狩野 (地区内住民)	地産地消と旬野菜を生かす食生活を考え、調理実習をとおして仲間づくりを図る。	2月1日	12人	地区内の元中華料理店主を講師に招き旬の野菜を使った餃子づくりを実施。家庭でつくれる本格的な調理法を学ぶと共に試食を通して出来栄に満足していた。	
9	【新規】はじめての草木染め (地区内住民)	季節の草花を利用し、自宅でもできる草木染の技法を学ぶと共に参加者同士の交流を図る。	9月7日 10月19日 2月8日 (全3回)	11人 (24人)	季節感のある材料を使用することで参加者の満足度を高めることが出来た。途中、ティータイムを設け参加者同士の交流も深めることが出来た。	
10	【新規】ちょこっとピラティス&エアロ教室 (地区内住民)	健康体力づくりを目的に、家庭でもできる初心者向けの体操を通して運動不足の解消を図る。	3月9日 3月16日 3月23日 (全3回)	13人 (37人)	自宅でも簡単に組み組める内容であり、久しぶりの運動に受講者も満足していた。	
11	利用団体の育成支援	情報提供を行い、各団体の活動を支援する。	通年	—	オンライン予約システム開始の案内をはじめ、必要な情報提供を行った。また、公民館まつりの開催により発表の場を提供できた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	郷土芸能伝承講座 「遅沢ばやし教室」 (地区内住民)	遅沢ばやしの練習と各種イベント参加の活動をとおり、郷土愛を育み地域伝承文化の継承に繋げる。	5月～2月 (全12回)	14人 (98人)	今年度は西那須野ふれあいまつり、盆踊り、運動会、郷土芸能発表会、西那須野花市に出演する機会に恵まれた。今後も保存会の支援を含め、継続していきたい。	
2	西那須野地区親善 グラウンドゴルフ 大会 (地区内高齢者)	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。	5月30日	16人	参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、日頃の練習の成果も発揮できる機会となった。	
3	狩野地区大運動会 (地区内住民)	スポーツをとおり地域住民の健康・親睦を深め、心豊かな地域づくりを図る。	10月6日	300人	5年ぶりの開催となった。大人と子どもたちが一同に夢中になって競技に参加し、会場はたくさんの声援と笑顔で溢れていた。	
4	ふれあいハイキング (地区内住民)	身近な自然や動植物にふれ、心身の健康づくりや、地域住民相互の親睦・交流を図る。	10月16日	9人	福島県下郷町「観音沼森林公園」と西郷村「雪割橋周遊歩道」を散策した。植物に詳しい参加者の案内もあり、身近にある自然の再発見と参加者同士の親睦を深めることができた。	
5	郷土芸能の育成支援 (地区内郷土芸能団体)	郷土芸能伝承のため、各団体の活動を支援する。「遅沢ばやし保存会」「つきの木もちつき唄保存会」の2団体に対し、情報提供等を行った。	通年	—	盆踊り、運動会、学校のイベント等の情報を共有して、発表の場を提供することができた。	
6	【新規】 ちょこっとピラ ティス&エアロ教室 (地区内住民)	健康体力づくりを目的に、家庭でもできる初心者向けの体操を通して運動不足の解消を図る。	3月9日 3月16日 3月23日 (全3回)	13人 (37人)	1-No.10再掲	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	くらしに役立つスマホ講座 (地区内住民)	スマホの便利な使い方を学び、スマホ活用のスキルアップを目指す。	9月 (全3回)	10人 (18人)	LINEの安全な設定や、写真・動画の取り方、地図での位置情報の利用方法やInstagram、QRコード決済などを学んだ。参加者は楽しそうに学んだ機能を試行していた。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	はじめての沖縄三線教室 (市民)	沖縄の伝統的な楽器である三線の弾き方を学習し、音楽を楽しみながら参加者同士の交流を図る。	7月～8月 (全5回)	9人 (41人)	1-No.6再掲	市民大学連携講座
2	図書ボランティアによる読み聞かせ (槻沢小児童)	図書ボランティアを活用し、図書室の整理や読み聞かせを通して、本に親しむ子供の育成を図る。 (地域学校協働本部事業)	5～2月 (全7回)	(290人)	図書ボランティア(7名)による読み聞かせを年間10回、朝の活動時に行った。定期的に児童の読み聞かせを行うことにより、児童は、読書に関する関心を持ち、豊かな心を育むことができた。	
3	花いっぱい運動 (三島中学校区・地区内住民)	公民館敷地内にプランターを設置し、春と秋の2回に分けて花を植え替え、地域環境の美化とこどもの情操を育む。 (地域学校協働本部事業)	6月4日 11月19日	430人 (860人) (三島中学校区)	中学生が出身小学校に出向いて、小学生と一緒に花の苗を植え、地域の緑化活動に貢献した。	
4	さわやかサミット (三島中学校区・地区内住民)	三島中学校区をより住みやすい地域にするための課題や改善点を、小学校の児童と中学校の生徒、地域の方々が話し合い、主体的に改善しようとする態度を養うことを目的として実施 (地域学校協働本部事業)	6月12日 1月29日	75人 (150人) (三島中学校区)	3会場をオンラインでつなぎ、小中学生・地域の方々が地域のためにできることや、児童生徒が地域活動に参画するためにはどうすればよいかというテーマについて活発な意見交換ができた。	

5	地域学校保健委員会 (三島中学校区・地区内住民)	地域の方々と連携を図りながら学校保健活動を推進し、児童生徒の健康の保持増進を図る。 (地域学校協働本部事業)	12月19日	70人 (三島中学校区)	「児童生徒の目の健康について～目に優しい生活を送るには～」をテーマに会議を実施。地域全体で目の健康の保持増進を進めていく重要性を確認できた。	
6	郷土芸能保存団体との交流事業 (槻沢小児童)	つきの木もちつき唄保存会との交流活動をとおりて地域郷土芸能に対する関心を高め、郷土愛を育む。 (地域学校協働本部事業)	1月14日	73人	もちつきの歴史を学び、実際にもちつきを体験することで、自分たちの住む地域の郷土芸能を知り、理解を深めることができた。	
7	高齢者との交流事業 (槻沢小児童)	地元の高齢者と昔の遊びを通して、郷土愛を育む。 (地域学校協働本部事業)	1月22日	46人	昔遊びを通して高齢者の経験の豊富さ、知識の深さに触れることができた。世代の違う人たちと触れ合うことができ、子どもたちにとって貴重な体験をすることができた。	
8	地域講話 (槻沢小児童)	地域の伝統行事について地域の方の話を聞くことにより、郷土を愛する心を養う。 (地域学校協働本部事業)	1月31日	58人	地域の方を講師にお招きし、地域の歴史や産業・文化についての話をいただいた。地域への理解を深め、郷土愛を育むことができた。	
9	西那須野地区親善グラウンドゴルフ大会 (地区内高齢者)	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。	5月30日	16人	2-No.2再掲	
10	狩野地区盆踊り大会 (地区内住民)	地域伝統文化の盆踊り大会を開催して地域住民の親睦・連帯感を深める。	8月15日	700人	盆踊りに先行して子どもお楽しみ会が開催され、多くの親子連れが来場した。小中学生によるよさこいの後、遅沢ばやし教室の子どもたちによる演奏で盆踊りが始まり、会場は大いに盛り上がり、真夏の風物詩を楽しむことができた。	
11	狩野地区大運動会 (地区内住民)	スポーツをとおりて地域住民の健康・親睦を深め、心豊かな地域づくりを図る。	10月6日	300人	2-No.3再掲	

12	公民館・狩野地区 コミュニティまつり (地区内住民)	公民館講座、教室、利用団体の作品展示、学習成果の発表とコミュニティの催し物を開催し、地域住民の交流を図る。	10月27日 (中止)	—	会場が衆院選投票所となったため、まつりを中止。作品展示については、「ギャラリー狩野」と題し、10月24日～28日(5日間)開催。展示会場を談話及び休憩可能な正面入り口のフリースペースに設置したことで、期間中の公民館利用者に加え、投票に来場された多くの方々に観覧していただいた。会場は大いに賑わい、地域住民の交流を図ることができた。	
13	狩野地区コミュニティどんどん焼き (地区内住民)	狩野地区の伝統行事を開催して、後世に伝え、心豊かな地域づくりを図る。	1月11日	500人	恒例のガラマキやキッチンカーの出展もあり、多くの地域住民が来場した。	
14	地域学校協働本部 (三島中学校区)	情報交換会等を行い、学校と地域の連携、事業展開を推進する。 (地域学校協働本部事業)	通年	—	情報交換会等を通じて、地域と学校との間で情報共有と相互理解に努めた。	
15	コミュニティ活動の育成支援 (地区内住民)	狩野地区コミュニティ推進協議会と連携して自主活動を支援し育成を図る。	通年	—	まつりの中止以外は例年同様に事業が実施できた。今後、時代の変化に合わせ活動を活性化させるにはどのような方法があるか新しい工夫が求められる。	
16	自治公民館活動の支援 (地区内住民)	備品の貸し出しや情報提供を行い、地区活動を支援する。	通年	—	新型コロナの影響で開催を見合わせていた多くの自治会行事が再開し、備品の貸出や会議のための貸館等、自治会の自主活動を支援できた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	槻沢小学校家庭教育学級 「つきのき」 (槻沢小児童・保護者)	保護者としての学びの場を提供し、保護者同士の交流を図りながら、家庭での保護者のあり方、子育て等を学ぶ。 (家庭教育支援事業)	7月～2月 (8回)	(124人)	保護者同士の交流を通して、子育てに関する情報交換の場を提供することができた。親子活動ではものづくりやレクリエーションなど体験しながら、保護者同士交流し、家庭教育の充実を図った。	

2	夏休み親子工場見学会 (槻沢小児童・保護者)	夏休みを利用して工場を見学し、ものができる工程や、そこで働く人たちの様子を親子で見学する。学びを共有することで親子の会話を増やし、また、将来の職業選択を考える機会とする。 (家庭教育支援事業)	8月22日	18人	県内の魚肉ソーセージ工場を見学したり、木綿の機織り体験を行った。製品ができるまでの工程や、働く人たちの様子を見学し、親子で学び、様々なことに興味を持って対話できた。	
---	---------------------------	---	-------	-----	--	--

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館・狩野地区コミュニティまつり (地区内住民)	公民館講座、教室、利用団体の作品展示、学習成果の発表とコミュニティの催し物を開催し、地域住民の交流を図る。	10月27日 (中止)	—	4-No.12再掲	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	—	多目的ホールカーテン設置、館内カーテン交換、駐車場区画線修繕を行い、学習環境を整えた。また、館内利用者、地区内住民のフリースペースとして利用できるよう、ロビー（旧図書室）を整理した。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年	—	オンライン予約システムの導入により24時間、どこからでも利用予約をすることが可能となり、公民館の利便性が向上した。	
3	公民館・狩野地区コミュニティまつり (地区内住民)	公民館講座、教室、利用団体の作品展示、学習成果の発表とコミュニティの催し物を開催し、地域住民の交流を図る。	10月27日 (中止)	—	4-No.12再掲	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館・コミュニティだより「ひがしのかけ」の発行	公民館及びコミュニティが実施する事業について、地区内住民に周知するため、広報紙を発行する。	通年	—	月1回発行し、公民館とコミュニティの事業の参加者募集や活動報告を周知することができた。	

令和6（2024）年度 南公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「つばめのこ」 (南小児童)	遊びやもの作りなど、子ども同士の活動を通して、自主性・協調性・創造性を養うことを目的に各種講座を実施。	6月～2月 (全9回)	14人 (101人)	参加可能な範囲でプログラムを立案し実施することで、様々な経験を通して学年を越えた仲間づくりもでき、受講生の成長を図ることができた。	
2	高齢者セミナー 「すずらん学級」 (地区内高齢者)	高齢者の生きがいづくり、健康づくり、交流促進を図ることを目的に、講話や軽運動など各種講座を実施。	6月～2月 (全9回)	44人 (239人)	高齢者が参加可能なプログラムを立案し実施することで、高齢者の生きがいづくりや交流を図ることができた。	
3	南地区輪投げ大会 (地区内住民)	輪投げを通して、地区内高齢者の健康増進と参加者相互の交流を目的として実施。	11月17日	16人	参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、高齢者に対して貴重な運動の機会を提供することができた。	
4	西那須野地区親善 グラウンドゴルフ 大会 (地区内高齢者)	西那須野地区6コミュニティの合同事業として、高齢者の健康増進と参加者相互の交流を目的に実施。	5月30日	25人	参加者は普段の練習の成果を十分発揮することができた。	
5	南小陶芸教室 (南小5年児童)	南公民館の特徴である陶芸窯を活用し、陶器づくりの体験を通してものづくりの楽しさと奥深い陶芸の歴史などを学ぶことを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	7月11日 7月12日 (2回)	児童・24人 教員・2人 講師・6人 児童・24人 教員・2人 講師・5人	児童全員が初めての体験であったが、講師の指導をよく聞きながら真剣に取り組み、各自がデザインした個性ある作品を作り上げることができた。	
6	大人の社会科見学	・カルビー工場見学 ・LRT乗車体験 食生活を見直し、豊かな日々が送れるように学習。参加者同士のコミュニケーションの場として活用。 (家庭教育支援事業)	11月28日	30人	家庭教育学級の移動教室として計画したが、参加者が少なかったため地域住民にも呼びかけて実施。初めて見学・体験する参加者も多く、興味を持って学んでいた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	市民大学「陶芸教室」 (市民)	陶芸の初歩的技術を学び、教養を深めるとともに、継続した自主活動を促すことを目的に実施。	9月 (全4回)	7人 (26人)	技法を教わりながらそれぞれ創作していくので、工夫の結果が花瓶や皿に現れた。また、出来上がった作品を互いに鑑賞しあい、色の出し方や模様のつけ方など意見交換し交流を深めていた。そのため参加者からはとても好評だった。	市民大学連携講座

2	自主グループ育成講座 「切り絵教室」 (市民)	切り絵の初歩技術を学び、生涯学習への興味喚起と仲間づくりを支援するとともに、自主グループの結成を目指して公民館の利用拡大と活性化を図ることを目的に実施。	11月～12月 (全5回)	6人 (29人)	デザインカッターを使うなど、細かな作業や集中力を要する切り絵だが、各自作成した切り絵は完成度が高く、参加者からは好評だった。 開催期間も長かったので参加者同士の交流促進も図ることができた。	
3	自主グループ育成講座 「トールペイント教室」 (市民)	トールペイントの初歩技術を学び、生涯学習への興味喚起と仲間づくりを支援するとともに、自主グループの結成を目指して公民館の利用拡大と活性化を図ることを目的に実施。	1月～2月 (全3回)	8人 (23人)	春らしい花をモチーフにした絵柄をスリッパに描き、趣味の体験ができた。 各自作成したトールペイントを施したスリッパは完成度が高く、参加者からは好評だった。 開催期間は短かったが参加者同士の交流促進も図ることができた。	
4	公民館教養講座 (市民) 「草木染め教室」	身近な材料(藍・玉ねぎの皮・桜の枝)を使った初心者向けの草木染めを通し、日々の暮らしに彩りを与え、心豊かに生活することを目的に実施。	9月7日 10月27日 2月22日 (3回)	4人 6人 13人	毎回異なる材料を使い、その都度受講者を募集することで、興味のある回に参加してもらうことが出来た。 回を重ねるごとに受講者が増え、楽しみながら染色に取り組むことが出来た。	
5	もの作り教室(地区住民) 「フラワーアレンジメント教室」	趣味の世界を広げることで、生涯学習のきっかけづくりや公民館の利用拡大と活性化を図ることを目的に実施。	2月1日	16人	地区コミュニティとの連携により、管内の市民が集い、花の特性を学びながら楽しく作品制作に取り組むことが出来た。	
6	味噌づくり教室 (地区住民)	日本が誇る健康食である味噌を手作りすることで奥深い日本食の伝統などを学びながら、世代を越えた地域住民の交流と親睦を図ることを目的に実施。		中止	計画していたが、業者の組織変更により中止	
7	ハイキング (地区住民)	ハイキングを通して身近な自然に触れることで心身の健康増進を図るとともに、世代を越えた参加者相互の交流と親睦を深めることを目的に実施。	6月1日	中止	天候不順のため中止	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「つばめのこ」 (南小児童)	遊びやもの作りなど、子ども同士の活動を通して、自主性・協調性・創造性を養うことを目的に各種講座を実施。	6月～2月 (全9回)	14人 (101人)	参加可能な範囲でプログラムを立案し実施することで、様々な経験を通して学年を越えた仲間づくりもでき、受講生の成長を図ることができた。	施策1-1再掲

2	高齢者セミナー 「すずらん学級」 (地区内高齢者)	高齢者の生きがいづくり、健康づくり、交流促進を図ることを目的に、講話や軽運動など各種講座を実施。	6月～2月 (全9回)	44人 (239人)	高齢者が参加可能なプログラムを立案し実施することで、高齢者の生きがいづくりや交流を図ることができた。	施策1-2再掲
---	---------------------------------	--	----------------	---------------	--	---------

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第39回南地区コミュニティ・南公民館まつり (地区内住民公民館利用者)	自主活動グループの作品展示、活動紹介及び各種イベントを行い、地域住民との交流やコミュニティとの協働を図るとともに、児童生徒の参加促進をすることで、地域をあげて子どもたちの健全育成の気運を醸成する。	10月6日	600人	自主サークルの作品展示や発表、コミュニティ各部、南小学校PTA、スポーツ少年団や児童クラブ等による模擬店、各種催し物を行ったことにより多数の来場者があり、地域住民との交流や、生涯学習の一層の充実を図ることができた。	
2	南地区花いっぱい運動 (地区内住民)	南公民館の敷地に季節の花を植えることで、地域の美化と地域相互の連携と親睦を深めることを目的に実施。	6月8日 10月26日 (2回)	39人 20人	季節の花を植えることで公民館や地域の景観を向上することができた。また、地域住民が植込み作業に携わることで、地域の交流と活性化を図ることができた。	
3	地域史跡保存活動 (地区内住民)	田園空間博物館サテライトの一つである親王台の管理（清掃活動）を通して、自然に触れ、開拓の歴史を学ぶとともに、貴重な史跡を適正に保存することを目的として実施。	6月30日	14人	親王台の下草刈り、枝おろし、ゴミ拾いを実施し、参加者同士の交流を図ることができた。また、身近な開拓の史跡に触れながら、歴史を学ぶことができた。	
4	ウエスカット作業 (地区内住民)	地域内から寄贈された布を、高齢者施設等で活用できる大きさにカットしてウエスを作成する作業を通じて社会貢献を行うとともに、地域住民の協力体制と親睦を深めることを目的に実施。	2月1日	17人	作業を通じて、参加者同士の交流と地域福祉の意識高揚を図ることができた。また、作成したウエスは社会福祉協議会を通じて高齢者施設等に寄贈し、地域内福祉活動の充実を図ることができた。	
5	ミニ門松作り教室 (地区内住民)	正月飾りの一つである「門松」のミニチュア版の作成を通して日本の伝統文化を学ぶとともに、地域住民の親睦と交流を深めることを目的として実施。	12月15日	14人	ミニチュア門松を手作りし、日本の伝統と材料の意味などを学ぶことができた。また、参加者同士が協力し合う過程で、交流を深めることができた。	
6	小さな旅 (地区内住民)	自然、文化に触れ見聞を広めながら、地域住民の親睦と交流を深めることを目的として実施した。	7月25日	32人	自然の中を散策したり、美術館で作品を鑑賞したりしながら、参加者同士の交流を深めることが出来た。	
7	陶芸教室 (南小5年児童)	南公民館の特徴である陶芸窯を活用し、陶器づくりの体験を通してものづくりの楽しさと奥深い陶芸の歴史などを学ぶことを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	7月11日 7月12日 (2回)	児童・24人 教員・2人 講師・6人 児童・24人 教員・2人 講師・5人	児童全員が初めての体験であったが、講師の指導をよく聞きながら真剣に取り組み、各自がデザインした個性ある作品を作り上げることができた。	施策1-5再掲

8	特別支援学級自立活動 「夏を楽しもう」 (南小児童)	地域住民の指導による藍を使った叩き染めを通して季節を感じ、身のまわりにある物を活用して作る楽しさを味わうことで児童の自立を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	8月29日	児童・28人 講師・1人	藍を使った叩き染めの袋を作成することで、児童の自立を促すことができた。また、地域住民の指導のもと道具の使い方などを習得し、楽しく作品づくりをすることができた。
9	「卒業式に向けて～コサージュを作ろう」 (南小6年児童)	地域住民の指導のもと、コサージュの手作りを行いながら卒業に向けての児童の意欲と希望の気持ちを喚起することを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	11月5日	児童・69人 保護者・69人 講師・3人	卒業式で自分の胸に着けるコサージュを手作りすることで、卒業に向けた児童の意識高揚を図ることができた。また、製作活動を通してこれまで自分を支えてくれた地域住民や保護者への感謝の気持ちを喚起し、将来への希望を深めることができた。
10	「絵手紙教室」 (南小3年児童)	地域住民の指導による絵手紙体験活動を通して、手紙文化への関心を深め、児童の自立を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	1月17日	児童・58人 講師・2人	絵手紙の作成を通して気持ちを手紙で伝えることの必要性を学ぶとともに、手紙文化への関心を高めることができた。また、地域住民の指導のもと、手紙により感謝の気持ちを表すことを学び、児童の知見を広げることができた。
11	「昔遊び」 (南小1年児童)	地域のスクールボランティアによる昔遊びの体験を通して、こま回し、あやとりなど、昔の遊び文化への関心を深め児童の自立を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	1月17日	児童・39人 スクールボランティア・18人	昔遊びを通して昔の遊び文化への関心を高めることができた。また、地域のスクールボランティアの指導のもと、地域住民との交流を図ることもできた。
12	「木製ポストカード作り」 (南小4年児童)	地域住民の指導によるポストカード製作を通して、木の実など身近なものを利用したものづくりの楽しさを学び、自然への関心を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	1月21日	児童・48人 講師・2人	2分の1成人式で保護者に感謝の気持ちを伝えるポストカードを製作し家族への思いを深めることができた。また、地域住民の指導・交流を深めつつ楽しく活動することができた。
13	ジュニアリーダー講習会 (南小5年児童)	南小5・6年児童を対象に、講話やレクリエーションを通じて小学校最上級生となる自覚を促し、下級生のリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	2月15日	児童・6人 講師・1人	なす高原自然の家職員の指導の下、スノーシューを体験した。家にこもりがちな冬のスポーツを楽しむながら、互いに交流を深めることができた。

14	宿題お助け隊 (南小児童・西那須野中生徒・地区内住民)	南小児童を対象に、地域住民と西那須野中学校生徒が協力して夏休み・冬休みの宿題の支援をすることを通して、児童生徒の地域活動への参加促進と住民間の連携、交流を深めることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	8月7日 12月26日 (2回)	児童 23人 生徒ボランティア 12人 講師 2人 児童 16人 生徒ボランティア 6人 講師 2人	小学生の長期休業中の宿題(書道、ドリル、工作など)の仕上げる支援を地域住民と中学生が協力して行うことで、中学生のボランティア意識の醸成、小学生の目標設定に寄与することができ、地域内住民同士の交流を深めることで、児童生徒の健全育成の機運を高めることができた。	
15	コミュニティ活動の育成支援 (南地区コミュニティ推進協議会)	南地区コミュニティ推進協議会の活動を支援し、育成を図ることで、住みよい地域づくりに寄与することを目的に実施。	通年		地域活動のあり方を共に考えながら、地域の活力の低下を防ぐため連携した取組を推進することができた。	
16	自主グループの育成支援 (南公民館定例利用団体)	公民館定例利用団体への情報提供等により活動を支援したほか、公民館まつりに学習成果の発表の場を提供することで、各団体の活動の充実を図ることを目的に実施。	通年		定例利用団体へ情報提供などの支援により、可能な範囲で活動ができたが、新たな自主グループの設立には至らなかった。	
17	自治公民館活動の支援 (地区内自治公民館)	自治公民館活動の活性化のために、相互の情報交換を行うことで、地区活動を支援することを目的に実施。	通年		自治公民館との相互の情報交換を行うことができた。	
18	地域学校協働本部事業 (地区内住民・南小児童・西那須野中生徒)	通年	通年		南小学校児童の登下校時の見守り活動を中心としたスクールボランティア活動を通して、学校と地域との協働体制を確保することができた。また、南小学校児童を対象とした冬休み「宿題お助け隊」事業を行い、地域住民や中学生との連携・交流を深めることができた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	南小家庭教育学級 (南小保護者・児童)	教育講演会、親子体験活動、ワークショップ、移動教室等を通して、保護者同士の交流を図りながら学習機会を設けることで、学習家庭教育力の向上による児童の健全育成を図る。 (家庭教育支援事業)	7月～2月 (全8回)	(73人)	プログラムの検討に当たっては学級役員の意見を聞き計画した。本年度は数回公民館事業との共催で行い親子での作業に取り組むとともに受講者同士の交流を図ることができた。	
2	ミニ門松作り教室	正月飾りの一つである「門松」のミニチュア版の作成を通して日本の伝統文化を学ぶとともに、地域住民の親睦と交流を深めることを目的として実施。	12月15日	14人	ミニチュア門松を手作りし、日本の伝統と材料の意味などを学ぶことができた。また、参加者同士が協力し合う過程で、交流を深めることができた。	施策4-5再掲

3	大人の社会科見学	・カルビー工場見学 ・LRT乗車体験 食生活を見直し、豊かな日々が送れるように学習。参加者同士のコミュニケーションの場として活用。 (家庭教育支援事業)	11月28日	30人	家庭教育学級の移動教室として計画したが、参加者が少なかったため地域住民にも呼びかけて実施。初めて見学・体験する参加者も多く、興味を持って学んでいた。	施策1-6再掲
---	----------	---	--------	-----	--	---------

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第39回南地区コミュニティ・南公民館まつり (地区内住民 公民館利用者)	自主活動グループの作品展示、活動紹介及び各種イベントを行い、地域住民との交流やコミュニティとの協働を図るとともに、児童生徒の参加促進をすることで、地域をあげて子どもたちの健全育成の気運を醸成する。	10月6日	600人	自主サークルの作品展示や発表、コミュニティ各部、南小学校PTA、スポーツ少年団や児童クラブ等による模擬店、各種催し物を行ったことにより多数の来場者があり、地域住民との交流や、生涯学習の一層の充実を図ることができた。	施策4-1再掲

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館整備事業 (公民館利用者)	ワンパク館屋根塗装 改修工事など	通年		屋根塗装工事などを行うことで、公民館利用者の利便性が上がった。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行 (地区内住民)	公民館と南地区コミュニティと共同で広報紙を定期的に発行することにより、公民館及びコミュニティ主催事業等の紹介や、地域住民に対する啓発などを行い、情報共有を図りながら地域の連帯感向上に寄与することを目的に実施。	月1回発行		月1回の定期発行により、公民館やコミュニティの各事業の案内、など各種情報をタイムリーに地区住民にお知らせすることができた。	

令和6（2024）年度 西公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	学校外活動事業 少年教室「チャレンジャーキッズ」 (地区内児童)	モノづくりや体験学習などの様々な活動をおして、仲間づくりや子どもの好奇心、創造を育成することを目的とする。	5月～2月 (全10回)	21人 (139人)	モノづくりやこの地域ならではのいちご狩り、野鳥観察などができ、子どもたちには地域の新たな発見となり、楽しく活動することができた。	
2	高齢者セミナー 「さわやか学級」 (地区内高齢者)	講話や創作活動、健康運動をおして、高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを図ることを目的とする。	5月～2月 (全11回)	75人 (267人)	手先を使うモノづくりから身体を動かす健康体操、移動教室など楽しく活動しながら参加者同士の交流を図ることができた。	
3	利用団体の育成支援	情報提供を行い、各団体活動を支援する。	通年	—	同じ趣味を持ち活動している団体が年間を通し円滑に活動ができ、会員勧誘のちらしの掲示場所の確保や活動成果の発表の場を提供することで、団体活動の活性化が図られた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	郷土芸能継承講座 「子ども疏水太鼓」 (地区内小学生4～6年生)	西小学校4～6年生を対象に、那須野ヶ原疏水太鼓保存会の指導の下、子ども疏水太鼓の技術の習得と発表など伝承活動を行った。	4月～3月 (46回)	15人 (537人)	練習や公民館まつり等での発表をおして、郷土芸能への理解が深まり地域活動への参加を図ることができた。	
2	西那須野地区親善 グラウンドゴルフ 大会 (地区内高齢者)	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。	5月30日	17人	参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、日頃の練習の成果も発揮できる機会となった。	
3	ハイキング教室 (地区内住民)	自然に触れながら心身の健康づくりや地域住民相互の親睦や交流を図ることを目的とする。 7月は雄飛の滝線歩道、ヨシ沼散策、11月は鬼怒川温泉郷まち歩きを実施した。	7月10日 11月 6日 (全2回)	21人 14人	7月の塩原は青々とした樹々のなか渓谷を散策できた。11月は鬼怒川の温泉街にかかる橋をめぐりながら散策をした。どちらも自然環境への理解及び健康増進と地域住民の交流を図ることができた。	
4	【新規】 飾り巻き寿司教室 (地区内住民)	飾り巻き寿司の技術を習得し学びながら、参加者同士の親睦・交流を図る。	9月20日 9月27日 (全2回)	7人 (12人)	かわいい飾り巻き寿司の作り方を学び、実際に作りながら技術を習得することができ、参加者はとても真剣に夢中になりながら楽しく学ぶことができた。 目で味わい、食べて味わうことのできる貴重な講座を実施できた。	

5	【新規】 一閑張り教室 (地区内住民)	新たな趣味を獲得する場を提供し、仲間づくりや生きがいづくりを図る。	11月15日 11月22日 11月29日 12月 6日 (全4回)	11人 (43人)	創作作業に個人差がでたが、参加者が協力しながら制作でき、新たな仲間づくりができた。	
6	ワイン講座 (市民)	地元で活躍するワイン醸造家の山崎賢子氏を招き、生産から醸造まで体験しながらワインについて学ぶ。	9月 1日 9月23日 11月24日 (全3回)	15人 (71人)	講義や収穫体験をとおして、ワインについてのぶどうの種類、栽培、生産方法など直接ワイン醸造家から学ぶことができ、座学だけでなくぶどうの収穫や試飲など、ほかにはできない貴重な体験ができ、受講者は楽しく学ぶことができた。	市民大学連携講座
7	西地区コミュニティ親善スポーツ交流会 (地区内住民)	コミュニティの体育レクリエーション部会が中心となって地区対抗輪投げ、グラウンドゴルフを実施する。	9月29日	74人	参加者は大いに盛り上がり地域を超えた交流が図られ和気あいあい楽しく参加できた。	
8	味噌づくり教室 (地区内住民)	普段口にする味噌を手づくりすることで、食生活への興味、関心を持つことを目的とし実施する。	2月1日	25人	味噌づくりをしながら、発酵食品の知識や味噌の種類や材料、料理について専門家から学ぶことができた。	
9	郷土芸能の育成支援	郷土芸能伝承のため、各団体の活動を支援する。	通年	—	子ども疏水太鼓、那須野ヶ原疏水太鼓保存会及び那須拓陽高校太鼓部へ支援することができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	なすしおばら生涯学習チャンネル MILK (見る・来る)	エール那須塩原家学(うちがく)プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット (YouTube) で配信	通年	-	市民大学連携講座「ワイン講座」の動画を配信した。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ワイン講座 (市民)	地元で活躍するワイン醸造家の山崎賢子氏を招き、生産から醸造まで体験しながらワインについて学ぶ。				施策2-6再掲
2	花いっぱい運動(三島中学校区・地区内住民)	公民館敷地内にプランターを設置し、春と秋の2回に分けて花を植え替え、地域環境の美化と子どもの情操を育む。 (地域学校協働本部事業)	6月 4日 11月19日 (全2回)	(860人) (児童800人) (大人 60人) (三島中学校区)	中学生が出身小学校に出向いて、小学生と一緒に花の苗を植え、地域の緑化活動に貢献した。	
3	フラワーロード整備事業 (地区内小学生・地区内保育園生・地区内高齢者)	地域の高齢者が西保育園児とともに小学校・西公民館の南面歩道にマリーゴールドを植え付け、地域の環境美化を図った。 (地域協働学校本部事業)	6月 4日 11月19日 (全2回)	(476人) (園児 36人) (児童289人) (生徒 76人) (大人 75人)	地域の高齢者と、西小児童及び保育園児と一緒にフラワーロードを整備することで世代間の交流を図ることができた。	

4	さわやかサミット (三島中学校区・地区内住民)	三島中学校区をより住みやすい地域にするための課題や改善点を、小学校の児童と中学校の生徒、地域の方々が話し合い、主体的に改善しようとする態度を養うことを目的として実施 (地域学校協働本部事業)	6月12日 1月29日 (全2回)	(150人) (児童 80人) (大人 70人) (三島中学校区)	3つの小学校に中学生が出向き、各会場をオンラインで結び実施。地域のためにできることや、児童生徒が地域活動に参加するためにはどうすればよいかというテーマについて活発な意見交換ができた。
5	子ども夏まつり (地区内住民)	趣旨に賛同する地域の企業からの賛助金で、コミュニティの各部会が中心となって、金魚すくい、ピンゴ大会、輪投げ、スイカ割、段ボール迷路を開催する。	8月4日	545人	地域の企業からの賛助金の協力をいただき開催し、参加した子どもたちは無料で催しものやお菓子をもらい夏まつりを楽しんでいた。
6	第36回いも煮会・西公民館まつり (市民)	西地区コミュニティと共催し、公民館事業や公民館利用団体による作品展示及び学習成果の発表と。併せてコミュニティの催し物等を開催し地域住民の交流を図る。	10月27日 (中止)	-	西公民館が衆議院議員選挙の投票所となったため、まつりは中止となったが、当日はフリースペースと玄関ホールで「西公民館利用団体作品展示会」として利用団体や高齢者学級での作品展、西地区コミュニティ広報誌そすいの郷の原画展を開催し、多くの投票来場者や来館者に鑑賞していただき、公民館活動を広く周知することができた。
7	感謝の会 (西小児童・地区内住民)	日頃からお世話になっている方(少年指導員、かやの実会、狩込どじょっこ会、農園協力者等)に、児童から感謝の気持ちを伝える。 (地域学校協働本部事業)	10月9日	280人 児童271人 大人 9人	日頃からお世話になっている少年指導員等の地域の方々を学校に招待し、児童の手紙とお花を贈呈し感謝の意を伝えることができた。
8	地域学校保健委員会(三島中学校区・地区内住民)	地域の方々と連携を図りながら学校保健活動を推進し、児童生徒の健康の保持増進を図る。 (地域学校協働本部事業)	12月19日	70人 児童生徒 40人 大人 30人 (三島中学校区)	「児童生徒の目の健康について～目に優しい生活を送るには～」をテーマに会議を実施した。市健康増進課保健師や国際医療福祉大学准教授から専門的な話を聞くことができた。地域全体で目の健康の保持増進を進めていく重要性を確認できた。
9	絵手紙講師による絵手紙教室 (西小児童)	6年生児童を対象として、卒業を見据え、保護者への感謝の気持ちを形あるものとして残すことで、より一層その思いを深める。 (地域学校協働本部事業)	1月21日	49人 児童 48人 講師 1人	保護者への感謝を込めた絵手紙を作成することで、改めて保護者への感謝の気持ちや卒業への思いを高めることができた。

10	西小児童と高齢者の交流活動 (西小児童・地区内高齢者)	地域の高齢者の方々の協力を得て、西小学校1年生が、けん玉やおはじきなどの昔の遊びを教えてもらいながら交流を深める。 (地域学校協働本部事業)	1月16日	60人 児童 36人 高齢者24人	大人の方から昔からの遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、昔の遊びの良さや楽しさを知り、地域の方と交流することができた。	
11	コミュニティ活動の育成支援 (西地区コミュニティ)	西地区コミュニティ運営委員会が行う各会議、事業の準備段階から、日時の調整、関係機関への書類提出補助、通知発送補助、他企画への参画及び情報提供することで支援した。	通年		コミュニティが行う各種事業の実施に当たり企画への参画及び情報提供等の支援を通して、地域住民全員が参加出来るような地域づくりの活動育成が図られた。	
12	自治公民館活動の支援 (地区内自治会)	備品の貸し出しを通して、自治公民館事業が円滑に実施できるよう支援した。	通年	-	自治公民館事業の実施にあたり備品等の貸し出しを行い、自治活動の活性化が図られた。	
13	自主グループへの支援 (西公民館定例利用団体)	定例的に利用している団体が年間を通して公民館を利用できるよう調整会議の開催や会員募集のちらしを張るスペースの提供を行った。	通年	-	同じ趣味を持ち活動している団体が年間を通して円滑に活動ができ、会員勧誘のちらしの掲示場所や活動成果の発表の場を提供することで、団体活動の活性化が図られた。	
14	地域学校協働本部 (三島中学校区)	定例会議や情報交換会等を行い、学校と地域の連携及び事業の推進を図る。 (地域学校協働本部事業)	6月28日 2月 4日	31人 26人	6月、2月に本部会議を実施。6月の第1回本部会議では「各地区コミュニティ・公民館まつりへの子どもたちのかわり方」をテーマにグループワークを行い、様々な意見を出し合った。3月の第2回本部会議では事業報告計画のほか「三島公民館・三島コミュニティまつり」の事例発表を行い、それぞれ今後の事業の参考となった。	
15	三島中学生と高齢者交流事業 (三島中学生・地区内高齢者)	地域の高齢者と三島中学校1年生との交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	実施なし	-	高齢者への感染症対策のため開催を見合わせた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	西小学校家庭教育学級 (西小児童・保護者)	親としての学びの場、友達づくりの場として子育て講演会や講座、親子活動を実施し、子育てへの理解を深め保護者同士の親睦を図る。 (家庭教育支援事業)	5月～2月 (全6回、中止1回)	(99人) (児童 52人) (保護者47人)	モノづくり体験をとおして、親子で協力し合い作業することで、親子同士のふれあいやコミュニケーションを深めることができた。また参加した親子同士手助けしながら親睦を図ることができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第36回いも煮会・ 西公民館まつり (市民)	西地区コミュニティ と共催し、公民館事 業や公民館利用団体 による作品展示及び 学習成果の発表と。 併せてコミュニティ の催し物等を開催し 地域住民の交流を図 る。	10月27日 (中止)			施策4-6再掲

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び 修繕の実施	公民館利用・避難所 開設時において安全 安心に利用できる環 境を整えるため、建 物等の計画的な改修 及び維持管理に必要 な修繕を実施する。	2月	-	屋根雨漏り修繕工 事、トイレ洋式化工 事及び照明LED化 工事等を不具合や利 便性向上を図るため の修繕を実施した。	
2	スマート公民館に 向けた取組	公民館の利便性の向 上に必要なシステム 及び地域住民の居場 所づくりのために必 要な設備の導入。	1月～	-	オンライン予約シス テムの導入がされ、 24時間予約が可能 となった。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館・コミュニ ティだよりの発行	公民館及びコミュニ ティが実施する事業 について、地区内住 民へ周知するため、 広報紙を発行する。	月1回発行	4月～3月 (12回)	公民館事業やコミュ ニティ行事の周知や 報告など地域に向け た情報の発信ができた。	
2	なすしおばら生涯 学習チャンネル MILK(見る・来 る)	エール那須塩原家学 (うちがく)プロ ジェクトの一環とし て、公民館地域・事 業等の紹介をイン ターネット(You Tube)で配信				施策3-1再掲

令和6（2024）年度 三島公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「こどもクラブ」 (三島小学校児童)	三島小全学年を対象とし、様々な体験学習を通して子どもの豊かな創造力や感受性を育む。	7月～8月 (実施4回、中止1回)	11人 (31人)	・前年度は各回選択制で実施したところ、回によって参加人数の偏りが生じたため、1コースで募集した。その結果、偏りは解消したが、定員の15名に届かなかった。 ・保護者同伴可としたところ、親子での参加が予想よりも多く、親子交流の効果があった。	
2	郷土芸能伝承講座 「こどもおはやし会」 (三島小学校児童)	「三島おはやし」を練習し、地域伝統への理解を深めると同時に豊かな人間性を育てる。	5月～12月 (全17回)	20人 (269人)	昨年度よりも登録者数が減ってしまったが、多くの児童が熱心に練習に参加し、公民館まつりでは全員が成果を披露することができた。	
3	三島地区高齢者学級「昂」 (地区内高齢者)	高齢者の健康や生きがいづくりのため、講話、ものづくり、娯楽など様々な講座を実施する。	6月～12月 (全7回)	16人 (84人)	当初予定していた「風呂敷の使い方講座」が講師の都合で急きょ開催できなかったが、代替の「膝楽体操」も好評だった。教養、ものづくり、娯楽などバラエティに富んだ内容で、楽しく参加できたとの感想をいただくことができた。	
4	【新規】 ～那須野が原開拓～ 『松方正義VS青木周蔵』 (市民)	那須野が原開拓に関わった多くの先人の中から「青木周蔵」と「松方正義」をピックアップし、両名の功績や開拓との関わりを3回の講話で学習し、最終回に旧青木邸別邸と千本松牧場（萬斎閣）、那須野が原博物館などを現地視察し、実際に体感する。	11月～12月 (全4回)	24人 (75人)	参加者は全員学習意欲の高い方ばかりで、出席率もよかった。アンケートでも「次年度もぜひ」という声が多かった。3回の座学を経てから現地を視察する流れは大変よかった。	市民大学連携講座

5	三島地区女性学級 「ふわり F U W A R I」 (地区内女性)	三島地区の女性 が、毎日ハツラツ と健やかに過ごす ための生活の知恵 と工夫、健康、安 全への知識、体験 を楽しく学ぶ場所 を設定し、地域の 活動リーダーの育 成へとつなげる。	9月～1月 (全5回)	15人 (62人)	今年度も多岐にわ たる学習内容を提 供し、参加者から も好評だった。高 齢者学級「昴」と 共催の回もあり交 流が図れた。講師 の都合で急きょ内 容を変更し、公民 館の消防訓練と共 催となった回も あったが、実体験 と講話の組み合わせ で、より有意義 な取り組みとなっ た。
6	【新規】 ルームライト作 り講座 (市民)	3種類のランプを 作成。それぞれの 工程や素材による 灯りの違いを鑑賞 し、ゆったりとし た時間を過ごし受 講者同士の親睦を 図る。	未実施		当初計画から変わ り、女性学級「ふ わり」の1コマと して、「ひょうたん ランプ作り」に 変更して実施し た。
7	夏の子ども劇場 (市民)	子どもたちに演劇 鑑賞の機会を提供 し、情操を豊かに し、公民館やホー ルへの親しみを促 す。	7月27日	339人	今年度は市広報で の周知は行わな かったが、近隣小 学校や保育施設等 へのチラシ配布 や、SNSでの情報 発信を実施した結 果、昨年度よりも 入場者数が増加し た。

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	三島地区グラウン ドゴルフ大会 (地区内住民)	グラウンドゴルフ を通して、親睦と 交流、健康増進を 図る。	11月15日 ※雨天のた め中止	35名参加予定	競技を通じた地域 交流は好評である が、年々参加者は 減少している。	
2	三島公民館グラウ ンドゴルフ (地区内住民)	地域の高齢者の交 流の場としての役 割と、各々の健康 維持を図る。	通年	31人 (1,586人)	高齢者の体力維 持、社会参加を目 的として通年開催 している。	
3	音楽に包まれる休 日in那須塩原 (市民)	市で活躍する音楽 団体による演奏会 を開催すること で、演奏者に発表 の機会を提供する と共に、市民に生 の芸術に触れるこ とによる文化芸術 への関心を促すこ とを目的に実施す る。(ふるさとの 音楽家派遣事業)	3月1日	168人	生のクラシック等 の演奏を無料で鑑 賞できるというこ とで、アンケート 結果も大変好評 だった。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	国際交流講座 「日本語教室」 (市内在住外国人)	在住外国人を対象とし、日本語の習得と学習者、指導者間の交流を深め、国際交流を図る。	4月～3月 (全33回)	32人 (151人)	例年の傾向ではあるが、年度当初に登録した受講者の継続出席率が大変低い。来年度は外国人雇用者が多くいる市内企業等に募集チラシを配布し、広く受講の呼びかけを行う。	
2	日本語学習者支援 ボランティア講座 (市民)	新年度の日本語教室の充実を図るために、指導ボランティアを要請するための講座を開設する。	3月22日	28人	県国際交流協会から派遣された講師の方から「やさしい日本語」の指導法について学習した。現役ボランティアの他、一般の方も多く参加し、有意義な研修会となった。	
3	【新規】 デジタル活用教室 (地区内住民)	デジタル化社会への適応能力を身に付けるために、スマホを使用して情報発信ができる「地域ポータル」の使い方を学習する。	7月25日	23人	地区内自治会の役員やスクールガードなどが参加して、地域ポータルの使用方法について学んだ。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	花いっぱい運動 (三島中学校区 児童・生徒、地区 内住民)	三島中学校区内の小学校と自治公民館等にプランターを設置。春と秋の2回に分けて地域住民と児童生徒が協力して花を植え替え、地域環境の美化と児童の情操を育む。 (地域学校協働本部事業)	6月4日 11月19日 (全2回)	430人 (860人)	三島中学生徒が各出身小学校に出向き、小学生と一緒にプランターに花を植えながらコミュニケーションを取るなど、小中一貫教育の成果をあげることができた。また、地域の方たちと共に活動する良い機会となった。	
2	さわやかサミット (三島中学校区 児童・生徒、地区 内住民)	中学校区内の3つの小学校を会場とし、児童生徒、地域住民が意見交換をし、各会場をオンラインで結んで発表する。 (地域学校協働本部事業)	6月12日 1月29日 (全2回)	75人 (150人)	児童生徒と地域の大人を交えて、地域のためにできることや、児童生徒が地域活動に参画するためにはどうすればよいかというテーマについて活発な意見交換ができた。	
3	地域学校保健委員会 (三島中学校区 児童・生徒、地区 内住民)	「児童生徒の目の健康について～目に優しい生活を送るには～」をテーマに会議を実施する。 (地域学校協働本部事業)	12月19日	40人	市健康増進課職員や国際医療福祉大学から講師を招き、本市の現状やデジタル機器が子供の目に及ぼす影響、対策を知ることができた。	

4	三中フェスティバル (三島中学校生徒)	文化祭に、生徒による合唱・演奏発表、作品展示などを通して、地域の方々との文化交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	11月1日 11月3日 (全2回)	(647人)	前夜祭として三島中学校体育館で英語スピーチや少年の主張を実施。文化祭に関しては、大正堂くろいそみるひいホールで合唱コンクールやダンス部、ブラスバンド部の発表を実施。地域交流に関しては感染症対策のため見合わせた。	
5	高齢者ふれあい交流事業 (三島中学校生徒、地区内高齢者)	地域の高齢者とふれあう機会を通して、生活の知恵や地域の伝統文化について理解し、豊かな人間性を育む。 (地域学校協働本部事業)	未実施		高齢者への感染症対策のため開催を見合わせた。	
6	七夕まつり (三島小学校児童、保護者、地区内住民)	コミュニティ、子供会育成会との共催で、七夕の飾付と紙芝居会などの伝統行事を行うことにより、児童の豊かな人間性を育む。 (地域学校協働本部事業)	7月6日～12日	118人 (7月6日参加者数)	昨年度よりも参加者が増加した。育成会とコミュニティ委員で協力して、竹の伐採、設営や飾りつけ会場の設営、指導等を行った。飾りつけの後、読み聞かせボランティアによる紙芝居会を実施し、大いに賑わった。	
7	開墾記念行事 (三島小学校児童)	地域の方を講師に招き、開拓の歴史について学習することで、郷土愛をより深める。 (地域学校協働本部事業)	4月15日	120人	6年生が体育館で、那須野が原開拓当時の様子や地域の先人たちの苦勞を知ることで、自分たちの住む地域に誇りをもち、地域のためにできることは何かを考える機会になった。	
8	地域安全教育 (三島小学校3年児童、地区内住民)	公共施設周辺等の道路を福祉の視点を持って地域の方たちと一緒に歩き、注意ポイントを落とし込んだ安全マップを作成し、自分たちでできることを考え、実践しようとする態度を育てる。 (地域学校協働本部事業)	①7月5日 ②9月24日 ③11月8日 (全3回)	120人 129人 126人 (375人)	①県警職員から安全安心な地域づくりの講話を聞き、地域の安全に関心を持つきっかけ作りになった。 ②地域の方たちと一緒に学校周辺を周り、安全で暮らしやすい町になっているか、まち探検を行った。 ③まち探検で調べた注意ポイントを地図に落とし、福祉の観点も盛り込んだ地域安全マップを作成した。	

9	三島小学校 感謝の集い (三島小学校児童、地区内住民)	日ごろお世話になっている地域の方々を招き、感謝の手紙の朗読や花束を贈るなどして、感謝の気持ちを伝える。 (地域学校協働本部事業)	11月15日	684人	全校生が体育館で、日頃お世話になっている地域の方々に手紙や花束を贈呈し、感謝の気持ちを表した。直接児童の気持ちを伝えることにより、学校への関わりを深める一助となった。	
10	三島かるた (三島小学校4年児童)	4年生の総合的な学習の時間に、地域かるたを製作し、より地域を知ることができる。 (地域学校協働本部事業)	1月～2月	131人	4年生の地域学習の一貫として、地域かるたを製作。自分たちが住む地域を知るきっかけ作りになった。また、三島公民館まつりで完成したかるたを使用したかるた大会が催された。	
11	学習ボランティア (三島小学校5・6年児童)	地域の方の力を借りてクラブ活動での指導をしてもらい交流することで、郷土への愛着を深める。 (地域学校協働本部事業)	通年	239人 6人(ボランティア)	三島公民館を通して学習ボランティアの募集を実施。5・6年生の家庭科(住まい・衣服)と手芸・ボードゲームクラブで指導助手をお願いした。児童が安心して活動できた。	
12	第40回三島小学校 凧揚げ大会 (三島小学校児童、保護者、地区内住民)	例年、三島体育センターグラウンドを会場に、凧揚げコンクールと6年生が製作した連凧揚げを実施。最後に4年～6年生で3つの大凧揚げを行う。子ども会育成会主体の実行委員会が運営を行う。 (地域学校協働本部事業)	1月18日	児童120人 保護者80人	当日は快晴で、風の具合も凧揚げに絶好の日よりとなった。コンクールには、地区内の自治会長が審査員として協力した。最後に、6年生全員のメッセージが書き込まれた3つの大凧を上級生全員で揚げる事ができた。	
13	どんど焼き(地区内住民)	例年、三島神社境内を会場に、地区の有志が主体の実行委員会が運営し、どんど焼きを行う。 (地域学校協働本部事業)	1月26日	300人	当日は強風のため、とり小屋への点火は取りやめたが、小屋周辺に複数の点火台を設置し、参加者が持ち寄った繭玉を焼くなどして、交流を図ることが出来た。	

14	地域学校協働本部 (地区内住民)	定例会議や情報交換会等を行い、学校と地域の連携及び事業の推進を図る。 (地域学校協働本部事業)	6月28日 2月4日 (全2回)	31人 26人	6月、2月に本部会議を実施。6月の会議ではさわやかサミットから繋げて「各地区コミュニティ・公民館まつりへのこどもたちのかわり方」をテーマにグループワークを行った。2月の会議では今年度の振り返りとして三島小学校地域学校協働活動推進員の事例発表を実施し、貴重な意見をいただいた。	
15	三島地区コミュニティ運営委員会 (地区内住民)	三島地区コミュニティ運営委員会の活動を支援し、育成・連携を図る。	通年		コミュニティが行う各種事業の実施に当たり企画運営の支援を通して、地域づくりの活動育成が図られた。	
16	西那須野地区自治公民館連絡協議会 (西那須野地区自治公民館長)	各自治公民館事業の情報共有や、先進地視察研修会等を実施し、各自治公民館の活動を支援する。(27自治公民館)	通年		令和5年度版各自治公民館事業集の発行と、福島県三春町のコミュニティ福島を視察し、SDGsについて学習した。	
17	自主グループ利用団体 (三島公民館定例利用団体)	各種情報の提供等により、自主グループ活動を支援する。	通年		公民館まつりへの参加要請や施設清掃の呼びかけ、令和7年度からの利用料見直し等の情報提供等を実施した。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ひよこの会 (市内の1歳から未就園の乳幼児とその保護者)	市内の乳幼児を持つ親を学習対象とし、「子育て」に関する知識を得る学習会や親同志のコミュニケーションを図ることを目的に、ものづくりや食育調理講座等を実施する。(家庭教育支援事業)	6月～1月 (全11回) ※中止2回 (台風のため)	親子12組 (267人) ※ 受講者数は、GUNEI三島ホールで実施した「ピノキオ人形劇」、「ママソウルコンサート」に参加した市内親子の人数も含む。	今年も様々な内容の講座を提供することができた。複数のボランティアグループに保育を依頼したことで、親だけで学習する回を設定することができ、楽しく無理なく学べたと好評だった。	

2	三島小学校家庭教育支援事業 (三島小学校児童、保護者)	児童と保護者が対象で、夏休みに親子参加で「福島空港お仕事見学」と「日本ハムスタッフの飾り切り教室」を実施。秋休みに実施したPTA文化委員共催事業では、警察、日赤、消防署、栃木PUSH各団体の協力を得て、講演会・実技体験を学べる大規模な催しとなった。 家庭教育支援事業通信「スマイル」(年3回)(家庭教育支援事業)	7月25日 8月7日 10月16日 (全3回)	(136人)	親子参加を希望する保護者が多く、親だけで学ぶ講演会などは参加希望者が少ない。今年はPTA文化委員と共催で1回実施したが、次年度からはPTA組織が存続しないため、企画運営実施まで公民館が主導する必要があると出てくる。時流に合った学びの内容を提供することが重要と考える。	
3	三島中学校家庭教育支援事業 (三島中学校生徒、保護者)	三島中学校区地域学校保健委員会と共催で実施。三島中学校区の各小学校による活動発表と講話を行う。 「あおはる通信」(年1回発行)(家庭教育支援事業)	12月19日	40人	今年度は地域学校保健委員会との共催で実施。次年度は小学校と同様に、公民館主導での家庭教育支援事業の実施が必要となってくる。	施策4-3再掲
4	三島中学校思春期講演会 (三島中学校生徒の保護者)	思春期の子どもの“ゆれる心”について理解を深め、親としての学びを得る講演会をPTA研修部との共催で開催する。(家庭教育支援事業)	未実施		三中PTA研修部が廃止されたことに伴い、実施を見送った。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第36回三島公民館・三島コミュニティまつり (地区内住民)	三島コミュニティとの共催により、三島公民館利用団体の活動発表、地域住民の交流を目的として例年開催。	10月27日	1,500人	昨年度と比較して来場者が増加した。理由として、三島中学校生徒が積極的にまつりの企画運営に参画し、中庭を会場に縁日広場を開催するなどした結果、家族連れが増加したことが挙げられる。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマート公民館 (市民)	地域に身近な公民館を有効活用した地域づくりのため、誰でも自由に利用できる「シェアスペースの設置」、公民館貸館予約ができる「オンライン予約システム」の導入等の取り組みを実施する。	—	—	・令和5年12月にシェアスペースを開設。一年が経過して、学習者や少人数での打ち合わせ、談笑する場としての利用が増えた。 ・令和6年1月からオンライン予約システム導入。スマホやパソコンから予約する団体が増加し、利用率が上昇した。	
2	計画的な改修及び修繕の実施 (市民、利用団体)	公民館利用や避難所開設時に、安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	—	—	令和7年度の空気調和設備改修工事に向けて、設計業務委託事業を実施した。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行 (地区内住民)	公民館が実施する事業の募集等について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	不定期発行	—	地区住民に向けて、公民館事業案内等の各種情報をタイムリーに発信することができた。	

令和6（2024）年度 大山公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「おおやま体験塾」 (地区内児童)	種々の体験活動を通して、子供の持つ豊かな感性や創造力を育てる学習機会の提供を図る。	5月～1月 (全9回)	20人 (154人)	定員超過の申込がある人気の教室で、普段できない体験活動に加え、親子間や子供同士が交流できる学習内容であった。親の積極的な参加や協力が今後の課題である。	
2	少年教室 「レッツダンス体験塾」 (地区内児童)	ヒップホップダンスの学びを通して、仲間との協調性、協力する大切さを会得し、体力の向上を図る。コミュニティまつりでの発表を目指す。	5月～10月 (全7回)	10人 (61人)	低学年の参加が多かったが、丁度良い人数だったこともあり、講師の目が行き届き充実した練習が行われた。また、全員そろって練習を行う機会が少なかったが、ダンスフォーメーション等、参加児童同士が協力し、まつりで発表するダンスを完成することができた。	
3	高齢者セミナー 「悠々大学」 (地区内高齢者)	心豊かな高齢期を過ごすための一助として、体験活動や健康講話等の学習を展開する。	5月～1月 (全10回)	68人 (331人)	大学の目標としている「人と交わることの大切さ、そして人からの教えを聴くことの意義」、双方の習得に向けて、きちんと取り組まれていた。学習テーマにより多少参加人数にバラつきがあったが、出席率は悪くなかった。	
4	大山カレッジ (市民)	市内の市民を中心とした、学習意欲を刺激し、生涯学習のきっかけとなるための一助とする。	7月～11月 (全8回)	30人 (111人)	今年度は、一閑張り・大人の料理教室の講座を開催した。参加者からは概ね好評だった。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	市民大学 「はじめてのお箏教室」 (市民)	日本古来の和楽器「箏（こと）」の入門講座。「箏」の独特の音色を響かせ日本文化に親しむ。公民館・コミュニティまつりで発表を目指す。	7月～10月 (全8回)	7人 (50人)	まつりでの練習の成果発表を実現し、既存自主グループへの移行を全員が希望するなど箏を続けるきっかけとすることができた。	市民大学連携講座
2	大山健康ハイキング (地区内住民)	ハイキングを通して、地域住民の健康維持、体力の向上と参加者の親睦、交流を図る。	10月22日	19人	熊の出没が多かったため安全な場所を考え鹿沼市の街歩きと竹林散策を実施した。参加者からは概ね好評だった。	
3	ラジオ体操 (地区内住民)	地域住民の健康増進及び居場所づくりのため、公民館にてラジオ体操を実施する。	週1回 (水曜)	262人	毎週参加する方の定着や長期休暇中の児童クラブ内児童の参加など、少しずつ盛り上がりを見せている。引き続き本事業を実施していきたい。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ICT推進講座 (地区内児童)	おおよま体験塾の講座の一コマでプログラミング教室を那須清峰高校生との交流を通して実施する。	8月24日	16人	地元高校の協力により、高校生が説明や指導を優しく務め、初めてプログラミングを体験する参加児童は安心して学ぶことができた。また、説明も分かりやすく、プログラムの作り方など楽しく体験することができた。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	夏休み親子木工工作教室 (地区内児童、保護者)	親子での協同作業を通して、ふれあいを深めるとともに、心に残る夏の思い出づくりとする。	7月28日	34人	親子でのふれあう機会を提供して、木工キットをのこぎり、クランプ等の道具を使って加工し、協同作業により作品を仕上げた。	
2	西那須野地区親善グラウンドゴルフ大会 (地区内高齢者)	コミュニティ相互の連携と親睦・交流を図る。	5月30日	37人	コミュニティ相互の連携と親睦・交流、健康増進を図ることができ、日頃の練習の成果も発揮できる機会となった。	
3	世代間交流グラウンドゴルフ大会 (地区内住民)	地域住民の親睦と健康増進を図るために実施する。公民館の講座とタイアップをして、参加者の確保に努める。	11月16日	63人	体育レク部会と高齢者部会の合同協力をいただき、安全に実施できる体制を確認しながら、世代間の交流が大いに図れた。	
4	大山地区ニューススポーツ体験会 (地区内住民)	地域住民の親睦とニューススポーツの地区内普及を図るために実施する。	2月1日	25人	地域住民の親睦とニューススポーツの普及が図れた。	
5	第31回大山公民館・大山地区コミュニティまつり	利用団体による学習成果の発表とコミュニティが中心となったさまざまな催し物を通して、地域住民のふれあいを深める。	10月13日	600人	地区内の学校や自主サークルによる発表・作品展示、公民館講座の紹介など、各種催し物により多数の来場者が楽しんでいた。公民館や地区内学校、利用団体の活動を多くの来場者に周知できたとともに、地区内住民の交流に寄与できた。	
6	第30回大山地区コミュニティどんどん焼き	大山コミュニティ・大山小学校・育成会との連携で、地域の伝承行事を実施する。(学校教育と社会教育の連携)	1月10日	500人	地域住民の協力を得ながら事前準備を行い、トリ小屋の規模を縮小するなど工夫して地域の伝承行事を継承することができた。	
7	花いっぱい運動	コミュニティ広場の環境整備を通して、地区内の高齢者と那須特別支援学校生徒との交流を図る。	6月6日 11月7日	(94人)	地域の高齢者と生徒による花壇整備、花苗植栽が地域行事として定着してきている。双方の協同作業が有意義な交流事業へと育っている。	
8	大山小さな旅 (地区内住民)	地域住民の親睦と交流を図るとともに、参加者の見聞を広める一助とする。	11月21日	40人	群馬方面の見所や食を知るとともに、地域住民の親睦と交流を図ることができた。	

9	お正月用ミニ門松作り教室 (地区内児童、保護者、住民)	お正月飾りの意味を学び、参加者自ら作製したミニ門松でお正月を迎える喜びを味わう。	12月21日	29人	親子でのふれあう機会を提供し、ミニ門松キット使って協同して作品を仕上げた。	
10	伝承活動継承事業	伝承行事であるどんどん焼きの福玉だんごづくりやどんどん焼きの準備を通して、地域の文化と技術の伝承、児童と高齢者の交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	1月10日	120人	大山小児童によるたきぎ拾いやまゆだまだんご作り、児童代表によるどんどん焼きについての作文披露、各育成会の代表児童による点火など、地域の伝承行事ということを体験してもらった良い機会となった。	
11	自然体験農園活動 (稲作栽培)	児童が地域の農業従事の方に指導をいただき、農業体験を通して、食の大切さを学ぶ機会とする。 (地域学校協働本部事業)	5月1日	111人	農業体験を通して、自然の恵みに感謝する心が育まれ、地域の方とふれあうことが出来た。また、自然、大地に直接触れる機会もあり大変貴重な体験が出来た。	
12	自然体験農園活動 (さつまいも栽培)		6月5日 11月6日	128人 128人		
13	大山地区ウォークラリー (地区内児童)	大山地区内にある田園空間サテライト等をめぐり、地域にある身近な遺産にふれることで関心を深め、自分が住んでいる地域に対する誇りと愛着の醸成を図る。 (地域学校協働本部事業)	11月30日	8人	大山地区内にある日本遺産等の史跡をめぐり、クイズ等で楽しみながら知識を得るとともに、地域に対する愛着の醸成を図ることができた。また、多くの人の協力によりスムーズに実施できた。	
14	思春期講座	性教育の授業を参観し、思春期迎える子どもへの接し方を学ぶ機会とする。 (地域学校協働本部事業・家庭教育支援事業)	2月21日	265人 (児童240人保護者25人)	参観する保護者が少なかったが性について親子で学ぶよい機会となった。	
15	コミュニティ育成・支援・連携	コミュニティ活動を育成、支援すると共に、種々の地域活動と連携を図る。また、地域学校協働本部の定着と協働活動の推進を図るために、方向性を決めて取り組んでいく。	通年	—	本会及び部会事業への活動支援等を通して、継続して地域力の向上に努めた。	
16	自治公民館活動支援	活動への指導、助言を行うとともに、情報提供を行うなどの地域活動を支援する。	通年	—	自治公民館への地区活動への支援を行った。今後も継続する。	
17	公民館利用団体の育成支援	情報の提供を行うとともに、自主活動を支援する。	通年	—	利用団体説明会開催、活動環境等の充実を図った。	
18	大山ギャラリー	学校や利用団体、地域住民の作品を展示し、発表の場として支援する(施設の有効活用)。	通年	—	様々な作品を月替わりで展示したことで、作品を見に来る人もおり、施設を有効に活用できた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	夏休み親子木工工作教室	親子での協同作業を通して、ふれあいを深めるとともに、心に残る夏の思い出づくりとする。				施策4-1再掲

2	お正月用ミニ門松作り教室	親子での協同作業を通して、ふれあいを深めるとともに、お正月飾りの意味を学び、自作したミニ門松でお正月を迎える喜びを味わう。				施策4-9再掲
3	味噌作り (地区内児童、保護者、住民)	親子で協力して味噌づくりをすることにより親子の触れ合いの場を提供する。	2月8日	28人	親子の協同作業により手作り味噌を作った。作った味噌は11月頃から食べることができるので楽しみにしていた。定員超過の申し込みがある人気の講座である。	
4	思春期講座	性教育の授業を参観し、思春期迎える子どもへの接し方を学ぶ機会とする。 (地域学校協働本部事業・家庭教育支援事業)				施策4-14再掲

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第31回大山公民館・大山地区コミュニティまつり	利用団体による学習成果の発表とコミュニティが中心となったさまざまな催し物を通して、地域住民のふれあいを深める。				施策4-5再掲

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	-	必要な修繕を実施し、利用者が安全安心に利用できる環境を整えることができた。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入。	通年	-	公民館のオンライン予約システムの稼働開始など、少しずつではあるがスマート公民館として動き始めたところである。	
3	第31回大山公民館・大山地区コミュニティまつり	利用団体による学習成果の発表とコミュニティが中心となったさまざまな催し物を通して、地域住民のふれあいを深める。				施策4-5再掲

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	コミュニティ広報紙の発行	コミュニティが実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	適時発行	-	公民館広報紙「大山のひろば」とコミュニティ広報紙「遊歩道」を分けて発行し、それぞれの目的に合った広報活動ができたと考える。	

令和6(2024)年度 ハロープラザ事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高齢者学級 「やしお大学」 (地区内高齢者)	高齢者が楽しく生き生きと暮らせるように教養、健康、娯楽、仲間づくりをメインに実施する。	5月～1月 (全8回)	27人 (171人)	各種講座と通じ仲間づくりを行うことが出来た。また、講座にて作成した作品をハロープラザまつりに展示するなど参加者の満足度を上げることが出来た。	
2	大人の教養講座 「草木染め」 (地区内住民)	季節の草花を利用し、自宅でもできる草木染の技法を学ぶと共に参加者同士の交流を図る。	8月24日 9月29日 2月16日 (全3回)	10人 (26人)	季節感のある材料を使用することで参加者の満足度を高めることが出来た。途中、ティータイムを設け参加者同士の交流も深めることが出来た。	
3	大人の教養講座 「冬の寄せ植え教室」 (地区内住民及)	季節の草花の寄せ植えすることで、参加者の各家庭で四季を感じてもらおう。	12月22日	9人	寄せ植えの技法を学ぶと共に、参加者の作品を互いに鑑賞した。お正月向けの作品で参加者の満足度も高かった。	
4	少年教室 「わんぱくチャレンジ塾」 (地区内児童)	小学生を対象とした体験教室、移動教室などで子供たちの好奇心・知識欲を刺激し、チャレンジ精神を高揚を図る。	6月～12月 (全7回)	22人 (122人)	各種体験活動を通じ仲間づくりが図れた。また、移動教室で「塩原かるた」に掲載される名所旧跡を訪ね郷土愛の醸成を図ることができた。	
5	そば打ち教室 (地区内住民)	地元「関谷そば打ち保存会」に講師を依頼し、地域の人材育成と参加者の交流を図る。	12月14日	6人	麺打ちの基本「打つ、切る、茹でる」の説明、指導。また、試食を行うことで参加者同士の交流も深めることができた。	
6	キムチづくり教室 (地区内住民及)	地元韓国料理店「春香伝」に講師を依頼し、地域の人材育成と参加者の交流を図る。	2月8日 2月9日 (2回)	16人 14人	本場韓国の唐辛子や塩辛を使用。味も良く皆満足の出来上がりとなった。非常に人気の高い講座で、毎年の開催を要望されている。	
7	味噌づくり教室 (地区内住民)	手作り味噌を自ら仕込み、味噌本来の美味しさや先人の知恵である発酵食品の良さを体験する。	2月15日	23人	毎年ここでの味噌づくりが恒例の家庭も多く、参加者からは毎年の開催を要望されている。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハイキング(夏・秋) (地区内住民)	ハイキングを通して健康増進と参加者相互の交流を図る。	5月17日 10月25日 (2回)	22人 23人	森林浴を楽しみながら参加者相互の交流が図れた。	
2	郷土史講座(塩原を掘る) (市民)	塩原と関連のある女性(高尾太夫、与謝野晶子、平塚らいてう)作品や人となりを学ぶことで郷土愛を深める。	9月7日 9月14日 9月28日 (全3回)	38人 (90人)	激動の時代を生きた3人の女性の生き方を知ること、塩原温泉との係わりを学び、郷土愛を深めることができた。また、参加者の満足度が非常に高く、次年度以降の継続開催を望む声が多い。	市民大学連携講座

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマホ活用講座 (地区内住民)	スマートフォンの基本操作やSNSの安全な利用方法など、自分の目的に合った利用ができるよう初心者向けの講座を行う。	3月15日 3月22日 (全2回)	14人 (26人)	情報検索方法とそれに伴うトラブルを知り安全な利用を覚える。また、市LINE公式アカウントを紹介し災害情報などの情報収集ができることを伝え活用していただく。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	郷土の歴史探訪 (市民)	箒根地区に関わりのある史跡等を見学し、郷土の歴史への理解を深めると共に生涯学習意欲の啓発を図る。 ①御野立所 ②塩原軌道 ③塩原古道(台風により中止) ④関宿城(千葉県)	6月9日 7月20日 9月1日 10月6日 (全4回、中止1回)	24人 (64人)	関谷宿の発展の礎である道と物流のルートをたどり、地域への理解を深めることができた。また、参加者の満足度が非常に高く、次年度以降の継続開催を望む声が多い。	市民大学連携講座
2	ハロープラザ地区子供会育成会連絡協議会支援 (地区内児童、保護者)	ハロープラザ地区子供会育成会連絡協議会活動の支援。	通年		育成会活動に必要な各種手続などの支援を行った。また、学校の新入生保護者説明会に参加し新会員募集を行った。	

3	ハロープラザ地区 子供会育成会連絡 協議会事業 (地区内児童、保 護者)	単位子ども会では 取り組めない事業 の支援や旧塩原町 時から続く「塩原 かるた」を使って のかるた取り大会 を行う。 ①星空観察会（台風 により中止） ②チャレンジランキ ング ③子ども会対抗かる た取り大会	①8月17日 ②9月21日 ③1月19日 (2回、中止 1回)	中止 13人 33人	子ども会に加入し ていない児童も参 加できるイベント も開催し、子供た ちの仲間づくりに 寄与できた。また 伝統の「かるた取 り大会」を実施す ることで郷土愛の 醸成を図ることが できた。	
4	サマースクール (地区内児童)	地域内義務教育学 校と協働し、地域 の方を講師とした 地域内児童に向け た宿題や体験学習 を実施する。	7月28日	21人	「書道」「木工工 作」「苔玉づく り」に別れて実 施。最後に完成作 品を全員で鑑賞 し、交流も図れ た。	
5	箒根学園地域学校 協働本部会議	地域学校協働本部 事業に関して、情 報及び意見交換を 行い、学校と地域 との連携を図る。 (地域学校協働本 部事業)	8月、2月 (2回)	18人 (25人)	各種事業の説明、 結果報告を行い情 報共有を図った。 また、花いっぱい 運動のプランター 設置場所の選定を 行った。	
6	箒根学園地域学校 協働本部事業 (児童生徒・保護 者・地域住民)	各種事業を通し、 学校と地域との協 働・交流を図るた め、以下の事業を 実施した。 ・和太鼓実習 ・琴演奏体験 ・スキー教室 ・農作業体験 ・地域巡り ・花いっぱい運動 ・朝ごはんプロ ジェクト ・地域の防災を考 えよう ・まつり等への協 力 (地域学校協働本 部事業)	5～3月 (16回)	243人 (1,557人)	地域の皆様の協力 により、郷土の歴 史・産業・文化へ の見識を深めると ともに協力者への 感謝の気持ちを醸 成することができ た。花いっぱい運 動を通じ地域内13 か所にプランター を設置し児童生徒 の活動を地域に周 知することができ た。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	箒根学園家庭教育 支援事業 (箒根学園児童生 徒及びその保護 者)	①リースづくり (対象：こだま学 級児童と保護者) ②ブドウの収穫体 験とワイナリー見 学 ③バドミントン教 室 (対象：5年児 童と保護者) ④ホットケーキ作 り (6年児童保護 者) ⑤親子で「冬の寄 せ植え」 ⑥紙飛行機作り (対象：1年児童 と保護者) ⑦親子で「ケーキ 作り」 ⑧指ヨガで血流改 善 ⑨ホットケーキ作 り (4年児童と保 護者) (家庭教育支援事 業)	9月25日 10月12日 11月22日 12月6日 12月7日 12月18日 12月21日 1月25日 2月26日 (9回)	26人 22人 59人 58人 18人 41人 27人 13人 57人	親子活動を中心に 実施。ものづくり や地元産業の見学 などを通じ親子の コミュニケーション、保護者同士の 親睦を図ることが できた。	
2	箒根地区合同家庭 学級 (箒根学園児 童生徒及びその保 護者)	移動教室 (広重美 術館・資生堂那須 工場)	9月6日		参加者数が定員に 満たず中止。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハロープラザまつ り	主催講座 (教室) や地区内義務教育 学校、公民館利用 団体の発表を通し て、地域住民との 交流を図る。	10月20日	400人	自主サークルの作 品展示や発表、公 民館事業の紹介、 箒根学園全児童生 徒の作品展示など 地域住民の交流や 生涯学習に寄与で きた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び 修繕の実施	公民館利用・避難 所開設時において 安全安心に利用で きる環境を整える ため、建物等の計 画的な回収及び維 持管理に必要な修 繕を実施する。 令和6年度：照明 LED化	通年		破損箇所などを随 時修繕し、社会教 育施設を維持管理 している。	

2	スマート公民館に向けた取り組み	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年		全15公民館にオンライン予約システムのスムーズな運用、地域住民の居場所づくりとしてもスペースとして活用できた	
3	公民館利用団体等育成支援	公民館利用団体と連携を図り、情報の提供及び団体相互の交流活動を支援する。	通年		調整会議は問題なく開催できた。また、新年度からのオンライン予約への情報提供にも対応出来た。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハロープラザだよりの発行 (地区内住民)	地区内住民に向けてハロープラザ等の事業の募集・報告等を告知する。	4月～3月 (12回)		地域内住民に向けて公民館事業の募集、報告などの情報周知が出来た。	
2	ハロープラザ関連ホームページの更新 (市民)	市民に向けてハロープラザ等の事業の募集・報告等を周知する。	4月～3月 (12回)		市民に向けて公民館事業の募集、報告などの情報周知が出来た。	

令和6(2024)年度 塩原公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高齢者いきいき講座 (地区高齢者)	高齢者が楽しく生き生きと暮らせるように教養、健康、娯楽、仲間づくりをメインに、老人クラブや生きがいサロンと連携し、地域に出向いて実施。	8月～2月 (全6回)	(120人)	どの講座も、参加者たちは生き生きと笑顔で参加しており、健康づくりやお互いのコミュニケーションの向上に寄与することができた。	
2	親子ふれあい料理教室	親子で協力して料理をすることで、親子のコミュニケーション向上を図る。	7月29日	17人	夏野菜を使用した料理を親子で調理することで、親子のコミュニケーションを深めることができた。	
3	親子ふれあい講座	親子でふれあえる体験型教室(カジカ釣り)を開催し、親子のコミュニケーション向上を図る。	8月25日	39人	身近な河川の自然と大切さについて、カジカ釣りを通して親子で学ぶことができた。	市民大学連携講座

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	初夏のハイキング (地区内住民)	白河の関及び近郊の天狗山をハイキングし、参加者の健康維持を図る。	5月17日	17人	ハロープラザと合同で開催。今回は1時間程度で周回できる起伏の緩やかなコースを選定し、参加者同士の交流と健康増進を図ることができた。	
2	健康アップ教室 (地区内住民)	肩・腰・膝が楽になる体操などを実施。頭を使った運動を入れることにより脳の活性化を図る。	6月～7月 (全4回)	10人 (40人)	生活に必要な動きを取り入れた体操など、参加者は熱心に体を動かしていた。	
3	夜間教養講座 (地区内住民)	革を加工したレザークラフト作品作りを実施する。受講生が革を選びから好きな作品を作る。	10月 (全4回)	8人 (32人)	各自が思い思いの作品制作をし、1～3点の作品を完成させていた。	
4	滝巡り講座 (市民)	雄飛の滝線歩道及び大沼自然公園を散策し、地域の自然を学びながら、参加者同士の交流を図る。	10月23日	9人	雨により大沼公園の散策のみに内容を縮小したが、雨に濡れる草紅葉を楽しむことができた。	市民大学連携講座

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマートフォン等教室 (地区内住民)	スマホの基礎知識を習得し、自宅で公民館の講座等学べるようにする。	8～9月 (全4回)	-	申込者が少なかつたため中止。実施方法・内容の精査が必要。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	菊づくり教室	菊づくりを通して植物を育てる楽しみと仲間づくりを図る。小中学校8・9年生の技術の授業と合同で行う。 (地域学校協働本部事業)	5～10月 (全7回)	8人 (48人)	菊の栽培技術の習得。講師と小中学生との交流が図られた。	

2	第川リフレッシュ大作戦 (地区内園児・塩原小中学校の児童・生徒とその保護者、関係団体)	児童、生徒、園児、地域住民や関係団体が一体となり第川の清掃・美化活動を行う。また、河川について学び、水に親しむことをとおして園児、児童生徒だけでなく地域住民や地域の自然との交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	7月22日	100人	地元の漁協やコミュニティ等の協力を得て実施。塩原小中学校児童生徒と認定こども園園児が参加し交流を深めた。河川について知識を深め、水遊び等で水に親しめた。	
3	【新規】ゴルフ大会 (地区内住民)	塩原温泉コミュニティ、塩原小中学校同窓会共催のゴルフ大会。	3月5日	58人	初めての試みであり、参加者も順調に集まったが、積雪により中止。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	塩原認定こども園家庭教育支援	親子体験活動などを通して家庭教育力向上と保護者同士の交流・親睦を図る。 (家庭教育支援事業)	12月20日	21人	親子物づくり教室を開催。親同士の情報交換や親子のふれあいの場になった。	
2	塩原小中学校家庭教育支援	視察研修などを通して家庭教育力向上と保護者同士の交流・親睦を図る。 (家庭教育支援事業)	6月14日	7人	視察研修を開催。親同士の情報交換の場になった。	
3	レザークラフト教室 (塩原小中学校生徒、保護者)	立志式にあわせてレザークラフト教室を実施する。 (家庭教育支援事業)	1月31日	9人	親子でレザークラフトに挑戦。親子の親睦を図ることができ、立志式の思い出となった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	塩原温泉コミュニティ・公民館まつり (地区内住民、利用団体、市民)	公民館事業やサークル団体の学習成果の発表、コミュニティでの催し物等を通して地域住民の交流を図る。	10月6日	850人	公民館活動やサークル団体の活動発表、コミュニティや塩原小中学校PTAが行った模擬店などで訪れた人々を楽しませることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマート公民館に向けた取組(市民、利用団体)	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年	-	令和7年4月から公民館使用料をキャッシュレス決済することができるシステムを導入した。	
2	学習・読書スペースの提供(地区内住民)	住民が気軽に利用できる学習の場を提供する。	通年	-	主に学生の利用が多かった。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	塩原公民館だよりの発行(地区内住民)	公民館事業等の情報提供のための広報紙を発行。	月1回発行	-	地区内住民に事業実施状況等の情報提供ができた。	
2	市ホームページでの情報発信(市民)	公民館事業等の情報提供を市ホームページで実施。	随時	-	市民に事業実施状況等の情報提供ができた。	

3	塩原テレビでの情報発信（地区内住民）	塩原テレビで「行政情報局」として公民館事業等の情報を発信する。	3ヶ月に1回		地区内住民に事業実施状況等の情報提供ができた。	
---	--------------------	---------------------------------	--------	--	-------------------------	--

令和6年度 公民館利用状況一覧表

令和7年3月31日時点

公民館名	主催・共催		自主グループ		公共団体		各種団体		その他		合 計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
黒磯	121	4,274	1,749	18,218	598	18,614	233	4,466	21	732	2,722	46,304
厚崎	53	1,815	1,750	12,788	112	2,213	328	4,585	7	89	2,250	21,490
稲村	61	1,496	907	8,440	178	2,040	394	6,157	33	473	1,573	18,606
とようら	38	465	347	2,026	43	177	223	2,925	4	39	655	5,632
鍋掛	80	1,083	198	1,310	92	984	110	1,308	0	0	480	4,685
東那須野	121	6,540	1,639	13,740	123	2,249	236	3,881	10	132	2,129	26,542
高林	80	1,789	443	3,179	39	798	347	3,573	196	1,056	1,105	10,395
西那須野	138	2,614	2,297	20,247	308	3,964	465	6,729			3,208	33,554
狩野	126	1,789	1,162	8,716	58	756	43	492			1,389	11,753
南	27	418	766	5,980	3	43	35	556	3	50	834	7,047
西	78	2,280	1,208	11,396	8	183	257	2,881			1,551	16,740
三島	136	4,252	1,363	12,031	58	924	179	3,341	66	4,006	1,802	24,554
大山	76	2,402	1,206	11,877	67	1,061	125	2,232	2	28	1,476	17,600
ハコフサ	28	1,504	720	6,449	296	7,901	52	845	50	303	1,146	17,002
塩原	26	500	367	1,659	183	3,501	158	2,680	13	286	747	8,626
計	1,189	33,221	16,122	138,056	2,166	45,408	3,185	46,651	405	7,194	23,067	270,530

2 付属施設等

公民館名	グラウンド		体育館		児童クラブ		その他		合 計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
黒磯										
厚崎										
稲村							262	1,192	262	1,192
とようら										
鍋掛	165	3,081	426	3,986					591	7,067
東那須野										
高林										
西那須野	284	2,796							284	2,796
狩野	310	4,851							310	4,851
南	299	5,312			258	6,508	148	765	705	12,585
西	146	1,827			249	7,104			395	8,931
三島										
大山	167	2,812			286	31,755			453	34,567
ハコフサ										
塩原										
計	1,371	20,679	426	3,986	793	45,367	410	1,957	3,000	71,989

※その他…陶芸棟

※その他…陶芸棟

